

平成23年度

- 環境保全功労者
- 地域環境保全功労者
- 地域環境美化功績者
- 環境対策に係る模範的取組表彰

功績内容等

環境保全功労者功績内容等

氏名・年齢・住所・職業	功 績
<p>市田 則孝 いちだ のりたか</p> <p>バードライフ・インターナショナル特別顧問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国最大級の野鳥保護団体、日本野鳥の会の規模を大きく拡大させた。 ・野鳥の会退職後は、東アジア・オーストラリア地域フライウェイという主要な渡りルートを行き来している渡り鳥の保全のための枠組みである、東アジア・オーストラリアフライウェイ・パートナーシップ（EAAFP）の設立（2006年）には深く関わり、貢献した。 ・東アジアにおいてラムサール条約湿地やEAAFPのネットワークサイト数を増やすことに貢献された。 ・IBA（Important Bird Area）のデータブックの完成に大きく貢献された。 ・バードライフ・アジアの事務局を東京に設置することに尽力し、バードライフ・アジアの代表を務められた。 ・現在でも、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ（EAAFP）事業の推進、東南アジア湿地管理の促進、二国間渡り鳥条約関連の会議開催等において尽力されているほか、平成13年より中央環境審議会臨時委員として、野生生物部会において、鳥獣保護法の改正を始めとする多数の重要な課題に参画し、野生生物保護行政においても顕著な功績が認められる。
<p>茨城流通サービス株式会社 いばらきりゅうつうさーびすかぶしきがいしゃ</p> <p>代表取締役 小倉 邦義 従業員 180名</p>	<p>○長年に渡ってエコドライブ活動に取り組みこれまで着実に効果を上げ、普及啓発に努めていること 平成17年度よりエコドライブ活動に取り組みはじめ、エコドライブコンテスト等にも参加して優秀な成績をおさめるなど、環境保全に関し、着実な成果を上げている。また、各種のセミナー等において取組状況を事例発表するなど、エコドライブ活動の普及啓発に積極的に努めている。</p> <p>○平成23年度エコドライブ活動コンクール最優秀賞を受賞していること 平成23年度エコドライブ活動コンクールにおいて、最優秀賞を受賞（10月18日審査委員会（委員長：大聖・早大教授）で決定、11月1日公表）であり、同社のエコドライブ活動が、我が国で最高の評価を受けたところである。なお、エコドライブ活動コンクールは、交通エコロジー・モビリティ財団が主催、エコドライブ普及連絡会（警察庁、経産省、国交省、環境省）が後援する我が国唯一のエコドライブ活動のコンテストであり、昨年度まで、環境省・環境再生保全機構が主催していたエコドライブコンテストを引き継ぐ形で、今年度から実施されたものである。参加事業者は、711社、車両台数は、37,448台であり、昨年度まで実施されていたエコドライブコンテストの審査対象とほぼ同規模の実施状況（672社、47,480台）となっている。</p> <p>○全国の模範となるエコドライブ活動をしていること エコドライブ活動については、コンクールの評価項目である取組体制、教育、燃費管理、成果評価、実績と方策の全ての項目について高得点であった。特に評価された点は、燃費改善のために独自に実験を行い、燃費の結果が芳しくないドライバーの燃費を底上げするとともに、エアコン使用状況が燃費与える影響についても実験を行い、夏場の燃費改善につなげるなど、全従業員がエコドライブ活動に意欲的に取り組んでいる点であった。</p>
<p>大勝 洋祐 おおかつ ようすけ</p> <p>医療法人 三州会理事長</p>	<p>氏は、昭和49年8月（第3期）から現在（第17期）まで、長きにわたって神経内科学の専門的立場から鹿児島県の公害被害者認定審査会・公害健康被害認定審査会委員として、水俣病の認定検診や認定審査会における審査にあたる等、鹿児島県の水俣病の認定等の適正かつ円滑な運営に大きく寄与している。</p> <p>また、平成22年からは、特別措置法に基づく水俣病被害者救済が始まったことに伴い、水俣病総合対策事業の円滑な運営に貢献されている。</p> <p>鹿児島県での活動のみならず、国における臨時水俣病認定審査会の委員を平成7年～15年まで務められていたほか、ノーモア・ミナマタ訴訟の和解に向けた委員会の運営に貢献された。</p> <p>以上のように、氏は、水俣病の認定等に係る医学的業務全般に尽力され、その円滑な推進に多大な功績が認められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成6年10月 公害健康被害認定審査等業務長期従事者感謝状授与 ・平成13年11月 日本医師会優功賞 受賞 ・平成14年6月 鹿児島県医師会功労賞 受賞 ・平成19年4月 日本臨床内科医会功労賞 受賞 ・平成19年6月 鹿児島県医師会特別功労賞 受賞 ・平成19年11月 鹿児島県民表彰 保健福祉部門 ・平成22年4月 日本臨床内科医会地域功労賞 受賞

環境保全功労者功績内容等

氏名・年齢・住所・職業	功 績
<p>西間 三馨 にしま さんけい</p> <p>国立病院機構福岡病院名誉院長 福岡女学院看護大学副学長</p>	<p>西間 三馨氏は、環境保全対策に関し、平成5年3月に取りまとめた局地的大気汚染の健康影響調査研究班に参画し、環境保健サーベイランス・局地的大気汚染健康影響検討会において、局地的大気汚染の健康影響調査手法に関する調査研究等に関し、座長として専門的見地からイニシアティブを発揮し、評価・検討・助言をいただくなど、環境保健行政の円滑な推進に果たした功績は多大なものがある。</p> <p>さらに、幹線道路沿道における局地的大気汚染と呼吸器疾患の関係について解明するため、平成17年度から幹線道路住民を対象とした大規模な疫学調査「局地的大気汚染の健康影響に関する疫学調査—そら（SORA）プロジェクト—」を実施し、平成23年5月にその調査結果を取りまとめ、公表に尽力された。</p> <p>環境保健サーベイランス・局地的大気汚染健康影響検討会座長（現在）</p>
<p>古里 明瑠 ふるさと あかる</p> <p>特定非営利活動法人 環境カウンセラー全国連 合会（ECU） 副理事長</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成8年環境カウンセラー資格を取得。活動の場を拡げるため、平成13年東京城北環境カウンセラー協議会を創設し会長に就任。この間環境団体として傘下各区との協働で地域の環境イベントや環境保全活動に関わり実績を上げている。 2. 環境保全活動は、地域にとどまらないことから環境カウンセラー団体を束ねる全国組織の必要性を痛感し、関東地域の各団体に呼びかけ任意団体を創設。この間「資金無し、事務所無し、職員無し」の中で無給の事務局長として、組織の起ち上げから、環境省、内閣府との折衝、定款規約の制定などに奔走し、平成13年に全国組織としてNPO法人環境カウンセラー全国連合会（ECU）を発足させ専務理事兼事務局長に就任、平成20年から副理事長に就任現在に至っている。ECUは、唯一の全国組織の環境カウンセラー団体として、自ら環境保全活動や環境教育・啓蒙活動等を主催すると共に、断片的ながら国際的な活動として、COP10への出展参加、韓国環境団体との交流等も行っている。また、環境省に政策提言を行い、環境省主催の行事やイベントに積極的に参画する等環境行政にも協力している。これらのECUの活動について、副理事長として率先して関与し実績を上げている。 3. 児童生徒はもとより一般市民に対する環境保全・改善のための啓蒙教育も重要な課題であり、環境省から環境教育推進法に基づく人材育成事業としてECUが認定されている「環境教育インストラクター」の普及発展にも関わり（東京家政大学等で養成セミナーを主催）、また、東京ビッグサイトで毎年開催されるエコログ展にも出展責任者として関与し実績を上げている。 4. 環境省が定めるエコアクション21の審査人（兼地域事務局判定委員長）として、中小企業の環境経営規格取得を支援して、取得事業者の省資源・省エネルギー、廃棄物削減、燃料低減、節水などを通じて、地球温暖化防止に寄与している。 5. 昭和45年公害問題がピークを迎えた頃から、業務上で下水道や産業廃水処理に携わることとなり、国内外の水環境の改善に正面から取り組み尽力した。また、環境システム計測制御の発展に早くから関わり、チームリーダーとして関わった超音波式汚泥濃度計の開発は、それまでの放射線式を超えた画期的なセンサーとして、国内はもとより海外にも輸出し、上下水処理分野の自動化省力化に貢献し現在に至るも重用されている。このことが評価されて2000年にIWA（国際水協会）のICA（計測自動制御）部門功績賞を受賞した。

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
北海道	<p>あさひかわ嵐山ビジターセンター あさひかわあらしやまびじたーせんたー</p> <p>代表 出羽 寛 代表1名、事務局長1名、会計1名、整備係2名、他 運営委員15名 トレブ（友の会）会員150名</p>	<p>センター建設以来23年間、嵐山や身近な自然と市民の接点としての役割から以下の活動を行ってきました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 毎年、4月末から10月末まで、週4日間開館、自然情報の提供、嵐山散策の休み場所の提供、運営委員が交代で小屋番。 2 館内展示による自然情報の提供。これまでに「嵐山の植物」、「嵐山の野鳥」などを展示。 3 自然観察会、嵐山全山縦走ハイキング、縦走スキーツアー等を毎年6月、10月、3月に実施。 4 子供対象の「みみずく森の探検学校」を毎年夏休みに実施。森の中でのキャンプ生活や夜の森探検。 5 みみずく森の野外映画会。これまでに、「木を植えた男」、「クラック」、「大いなる川の流れ」などのアニメ映画の上映。 6 みみずく森の音楽会。丸太小屋での小規模な音楽会。 7 キッズ・アート 子供を対象に、石や木などの自然物を使った造形活動。 8 1000本のキャンドルライト 毎年、12月23日、前庭の雪面に手作りのキャンドルライトでお星様の模様を作り、夕方に点灯。 9 この人と語ろう 様々な分野の人の話題提供と交流会。 10 嵐山公園整備懇話会、嵐山スキー場跡地の自然復元のための植生調査など、旭川市の環境行政への参画。 11 2008年、20周年記念行事として、キッズ・アートではツリーハウスを造り、フォーラム「緑のネットワークと自然再生」を実施。 また、小川巖氏（エコネットワーク代表）、あべ弘士氏（絵本作家）、竹田津実氏（写真家、エッセイスト）による鼎談「自然と生きる、自然に生きる」を実施。 12 これまでの出版物 会報「トレブ」（毎年発行、現在19号）、「嵐山フィールドマップ」、「嵐山ガイドブック（野鳥編）」、「絵はがき（野の花・春、野の花・夏、野の花・秋）」、「嵐山年表稿」、「吉田友吉の嵐山百科」、「緑の課題パートII-嵐山から（20周年記念フォーラム記録誌）」など。
北海道	<p>旭川MS会 あさひかわえむえすかい</p> <p>会長 松尾 清子 17名</p>	<p>旭川MS会は、「よい自然環境と美しい郷土を子や孫たちに遺産として残していきたい」との願いを込め、昭和60年4月に発足した女性中心のボランティア団体です。（Mはマザー、Sはシスターの意味） 発足以来26年間、この活動に賛同する旭川市民をはじめ道内外各地の参加者で、春に桜の植樹を旭川市江丹別にある市営牧場の周囲で実施してきました。</p> <p>地域老人クラブでは、桜の植樹活動を通して版画で古里を表現し広く注目を集め、婦人部の今日まで続いている豚汁のもてなしや会員からの支援などが、旭川MS会の発展につながっていると思います。</p> <p>また、旭川MS会の運営は、事務局員がすべて手弁で行っており、頻りに現地（まちの中心から27キロ）に行き、自然環境を守る観点から、桜の植樹と共に木を植えることの重要性を多くの人々に啓発し、実践に結びつく活動を行っております。</p> <p>平成22年には、旭川MS会発足25周年を記念し、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏をお迎えし、講演会と第25回桜の植樹を実施しました。</p> <p>未だに試行錯誤の連続ですが、人々の思いや夢の込められた豊かな森になるよう元気に育て、次代に手渡したいと願っています。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
北海道	<p>特定非営利活動法人 グラウンドワーク西神楽 とくていひえいりかつどうほうじん ぐらうんどわーくにしかぐら</p> <p>理事長 武田 勇美 88名（平成23年3月末現在・個人86名、法人2名）</p>	<p>平成8年「西神楽地域づくり研究会」として発足し、平成13年10月、NPO法人として認証。地域の自然環境保全と地域活性化のため、地域住民と企業・行政とのパートナーシップに基づき活動。川の自然環境を学び川に親しむイベント「リバーウォッチング」を毎年開催し平成21年で第12回となった。地域の小中学校の総合的学習の支援活動として、自然散策路、ビオトープの造成、自然環境学習の場として、水生生物・水質調査、植物、昆虫、冬には雪上に標された動物の足跡調査など学校関係者、地域住民が参加活用している。</p> <p>西神楽さと川パークゴルフ場（現在は36ホール）を地域の高齢者たちによるボランティアで造成し、平成16年度から当NPOの自主運営管理により、健康増進、自然環境の保全、平成21年度には41,852人の利用者でにぎわい、都市住民との交流を深めている。</p> <p>自然環境保全に配慮した活動を実践し、河川敷や丘陵地を利用して、自然観察散策路・ビオトープの造成などにより、地元の小中学校による自然環境の学習の場としても利用を支援している。</p>
青森県	<p>青森市消費者の会 あおもりしょうひしゃのかい</p> <p>会長 徳差 克子 会長、副会長1名、監事2名、会計1名、理事25名、 会員116名</p>	<p>青森市消費者の会は、消費について正しい知識を研修し普及するとともに、生産者・販売者・消費者の公正な意志の連絡を図り、もって市民消費生活の向上に資することを目的に活動を始めてから40年となる。同会の活動のうち設立当初から行っているものとして、会員自らがリサイクルの方法・技術を身につけ多くの市民に伝達する古着等を使っている「リフォーム教室」である。</p> <p>また、昭和55年から平成12年まで、物を大切にし有効利用を図る目的で市内百貨店の店内に「不用品交換斡旋所」を設置し、各家庭で眠っている物品を希望する人へ斡旋していた。</p> <p>さらに、包装・買い物袋の実態調査や使用済み割箸の回収活動のほか、レジ袋削減を進めるためにマイバック持参率を高める普及・啓発活動等を通じ、ごみ減量化に向けた積極的な取組みを実施している。</p> <p>これらの活動は、市民や事業者など地域とのコミュニケーションを図りながら実施されており、同会の活動及び姿勢は地域の模範となるものである。</p>
秋田県	<p>片野 登 かたの のぼる</p> <p>秋田県立大学生物資源科学部教授</p>	<p>昭和55年秋田県庁入庁後、県職員として、河川・湖沼の水質汚濁の防止を中心に環境行政に携わってきた。特に環境技術センターにおいては、秋田県の三大湖沼である八郎湖、田沢湖及び十和田湖の水質監視調査等、主に県内の河川・湖沼の水質調査を行ってきた。中でも、八郎湖の水質調査においては、干拓地より高濃度のリンを含む地下水が湧出していることを発見した。</p> <p>このような調査研究成果を活かし、平成11年に秋田県立大学生物資源科学部助教授就任後は、水圏環境学や微細藻類学等を専門分野として研究活動をさらに深めてきた。その専門的な知見を活かし、次の委員会等の委員を務める等、本県の環境保全対策、とりわけ、八郎湖の水質保全対策への貢献は非常に大きいものがある。</p> <p>○八郎湖水質浄化対策専門家会議委員（平成14年4月から平成16年3月まで） 八郎湖流域における水質保全型農業の普及や下水道の整備等、発生源対策の推進を県に提言した。</p> <p>○八郎湖水質保全対策検討専門委員会委員（平成18年11月から平成20年3月まで） 湖沼水質保全計画の策定にあたり、専門的な見地から対策を検討し、平成20年3月の「八郎湖に係る湖沼水質保全計画の策定に向けた検討結果報告書」の作成に尽力した。</p> <p>○県環境審議会八郎湖水質保全部会（平成19年6月から現在まで） 部会長として、「八郎湖に係る湖沼水質保全計画」における流出水対策地区の指定や規制対象施設の排出基準等の審議を行い、同部会のとりまとめに尽力している。</p> <p>○八郎湖研究会（平成20年4月から現在まで） 専門家委員として、平成20年3月に策定された「八郎湖に係る湖沼水質保全計画」に盛り込んだ対策の効果的な実施方法等の検討や効果の検証に貢献している。</p>
秋田県	<p>藤原 正麿 ふじわら まさまる</p> <p>湯沢雄勝地区衛生組織連絡協議会監事</p>	<p>昭和49年より教職員の傍ら秋田県自然保護指導員として地域の環境保全に努めた。また、平成5年からは羽後町環境巡視員として不法投棄の発見や撤去、クリーンアップに力を注ぎ地域住民の啓発に尽力された。</p> <p>また、平成6年から湯沢雄勝地区衛生組織連絡協議会の会員、理事として活躍し、平成13年度から2年間湯沢雄勝地区ごみゼロあきた推進会議の初代会長を務めるなど地域の環境保全行政に寄与した功績は顕著である。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県別	氏名・年齢・住所・職業	功績
山形県	<p>千門町蛭の会 せんもんちょうぼたるのかい</p> <p>会長 長沼 敏 事務局 菅久雄、新国吉郎、会員43名</p>	<p>・「千門町蛭の会」は新庄市内の市街地を流れる指首野（さすの）川的环境保全を行う団体であり、指首野川の浄化のシンボルとして、ホタルを飼育・放流し、市街地でもホタルの棲める河川を目指して様々な活動を展開している。</p> <p>・地域の4学校・4団体からなる「指首野川水辺の環境推進会議」の構成団体として、地域で連携した環境保全活動を推進しているほか、「美しい山形・最上川フォーラム」の加盟団体として、県全体としての河川のアプローチ活動にも積極的に参加している。</p> <p>・活動の中核をなす事業はホタルの飼育及び放流事業であり、平成16年に岐阜県においてホタルの生態を学んで以降、17年度からは継続して毎年8月頃にホタルの放流を行っている。千門町周辺の指首野川では夏になるとホタルの飛び交う様子が観察され、地域のシンボルとなっている。</p> <p>・これと平行し、指首野川周辺を整備し、河川が作り出す自然環境を保全する取組みも進めている。その中心となる取組みは毎年5月頃に行われる指首川内の草刈作業と、清掃作業を行う指首野川クリーン作戦の実施である。中でも指首野川クリーン作戦は、地域内にある新庄市立新庄小学校の児童とともに行うもので、児童らに身近な河川を美化する作業を通じて環境保全の大切さを訴える取組みとなっている。</p> <p>・この他にも新庄小学校の児童とともに、自然農法による田植え、収穫作業といった米作り体験活動も実施しており、市街地の児童らに自然とふれあうとともに農業が環境を保全してきたことを学ぶ機会を与えている。</p> <p>・さらに、市内小中学校によって行われる環境学習発表会への協力団体として活動したり、新庄小学校において伝統行事「なしだんごづくり」（榊の木にもちを刺して飾り付ける東北地方の小正月行事）を実施したりと、環境教育への協力はもとより、地域のボランティア団体としての役割をも担い、地域活性化の一助として機能している。</p> <p>・こうした活動が評価され、同団体は平成23年度に山形県内で環境保全活動に目覚ましい活動を続けている者に県から授与される「第12回環境やまがた大賞」を受賞している。</p>
福島県	<p>緑町河川愛護会 みどりましかせんあいごかい</p> <p>会長 佐藤 文雄 141名（うち役員20名）</p>	<p>昭和63年に設立以来、地域の人々の憩いの広場をより良いものにするため、会津若松市を流れる旧湯川の川沿いの草刈・清掃活動、河川敷公園内の花壇の植栽・維持管理などを行っている。また、最近では川底の清掃なども定期的に行うようになった。</p> <p>この長年にわたる活動により、旧湯川の水質が改善し、近年、初夏のころには蛭が飛び交う姿も見られるようになった。また、魚も増えてきたようで、釣りを楽しむ人も増えてきた。広大な敷地でありながら、日々、自発的・積極的に活動を行うなど、自然保護・美化活動に対する会員一人ひとりの意識の高さは他の模範になるといえる。</p> <p>●活動年数 約23年間 ●年間活動日数 4～11月の期間、ほぼ毎日 ●受賞歴 平成21年度 会津若松市環境大賞 平成22年度 “うつくしま、ふくしま。”環境顕彰</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
茨城県	<p>川又 文夫 かわまた ふみお</p> <p>土浦市環境基本計画推進協議会会長</p>	<p>○氏は、ごみ拾いや不法投棄の監視、霞ヶ浦や河川の水質浄化活動など、地域の環境保全活動に長年にわたり取り組んでこられた。このような中、国や茨城県、地域の環境問題の背景についてさらに深く学び活動に活かしたいとの思いから、茨城県が実施するエコ・カレッジを受講し、平成17年1月に優秀な成績で修了された。 ※エコ・カレッジ：地域において環境保全活動を推進するリーダーを養成するもの。年間8回で、テーマは温暖化やごみ問題など環境全般。</p> <p>○また、エコ・カレッジで学んだ知識を活かし、土浦市が実施する「ごみ問題出前講座」の講師を務めるとともに、県や市が主催する環境イベントやキャンペーン、研修会などに積極的に参加するなど、現在も精力的に活動を継続している。</p> <p>○このように、地域における環境保全活動を継続する一方で、「ごみや水質などの身近な環境問題は地域が自ら考え解決する」ことをモットーに平成13年5月から「土浦市まちづくり市民会議環境部長」として、平成23年5月からは「土浦市まちづくり市民会議議長」として、現在も環境保全の視点を活かしたまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>○平成14年12月からは「土浦市環境基本計画推進協議会会長」として、平成21年7月からは「土浦市環境審議会副会長」として、「第一期土浦市環境基本計画」の策定や、この計画の基本理念を実現するための事業の進捗管理等にも参画している。なお、現在土浦市では、平成24年度から計画期間が開始される「第二期土浦市環境基本計画」を策定中であり、氏はこれまでの環境保全活動において培った知識や経験を活かして策定に精力的に取り組んでいる。</p> <p>○氏はその温厚な性格から人望が厚く「環境問題は地域が自ら考え解決する」をいう氏の考えに賛同する者は多い。環境保全活動を推進する市民活動者の第一人者であり、これまでの功績は誠に大である。</p>
栃木県	<p>五月女 明 そうとめ あきら</p> <p>社団法人 栃木県産業廃棄物協会 理事</p>	<p>1 昭和47年6月、(株)西那須真田(平成17年、(株)真田ジャパンに社名変更)に入社。誠実な人柄と旺盛な営業活動で社業に精励し、その貢献により平成5年9月に代表取締役就任。また、産業廃棄物処理事業の他、一般廃棄物関係の受託事業等を行い、廃棄物のリサイクルや適正処理の推進に努めるなど、「循環型社会」の担い手として総合リサイクル企業を目指し、継続的な努力を行っている。</p> <p>2 周辺地域住民(特に幼児や児童)に対する環境保全に係わる啓発活動に積極的に取り組んでいる。例えば、空き瓶の色別の仕分け作業やペットボトルの圧縮作業、更には廃棄物の収集運搬作業などを園児たちに見学していただき、空き缶や空き瓶の出し方のマナーを説明するなど、幼児の段階からごみ分別の大切さを普及・啓発している。</p> <p>3 現在、「産業廃棄物処理施設に対する理解促進に係る研究会」のメンバーとして、地域住民から理解・信頼される施設づくりを推進するための方策について、自分の経験を踏まえ積極的に発言している。</p> <p>4 永きに亘り当協会の理事として、収集運搬業、中間処理業の豊富な知識と経験をもって会員の資質向上と適正処理を指導するとともに、廃棄物処理の相談に応じるなど会員の育成及び協会の発展に尽力してきた。また、県や協会等の関係諸会議には積極的に出席し建設的な意見を述べるとともに、業界の健全な発展に指導的役割を果たすなど、環境行政へ協力した功績は大である。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
群馬県	<p>日野ホタルの会 ひのぼたるのかい</p> <p>会長 福田 一男 会員150名</p>	<p>1 ホタルの飼育及び河川への幼虫放流 ホタルが棲みよい環境を整備するため、ホタルの生息地調査や餌となるカワニナ・タニシの生息地調査を実施し、保護地の設定や案内板の設置を行っている。 また、ホタル飼育地の拡張工事やカワニナ・タニシの養殖を行い、ホタルの幼虫を飼育。飼育したホタルは市内を流れる鮎川全域への放流を始め、市内の飼育施設や小規模河川への放流を行うなど、ホタル保護育成のための活動を行っている。</p> <p>2 「日野ホタル祭り」の開催 平成5年から、毎月6月の第3土曜日にホタル祭りを開催し、ホタル鑑賞会を行っている。祭りでは、鑑賞会のほかに昨年度はフラダンスや格闘方舞踊などのショーを行い子どもから大人まで楽しめるお祭りとしている。祭りの事前準備は会員を中心に地域のボランティアや子ども達も手伝うなど、地域一体となって取り組んでいる。</p> <p>3 河川的环境美化整備 ホタル発生地の環境保護活動として、河川の清掃や植物の移植等を行っている。</p> <p>4 地区の廃校の除草及び環境整備作業 地域にあった小学校が2校廃校になったことに伴い、周辺地域の荒廃を防ぐために、廃校となった地区の小学校の清掃活動を実施している。ホタル祭りも廃校となった小学校の校庭で開催するなどし、地域住民に親しまれる場所として活用している。</p> <p>「日野ホタルの会」は、ホタルの住める環境づくりや保護育成活動を通して、自然を守ることの大切さや自然のすばらしさを子ども達に伝え、後世に継承していく目的で平成4年に結成。以来、地元の有志が会員となり、ホタルの保護育成、地域の環境整備に継続的に取り組んでいる。</p>
千葉県	<p>盤洲干潟をまもる会 ばんずひがたをまもるかい</p> <p>代表者 田村 満 会員32名</p>	<p>「盤洲干潟をまもる会」は、東京湾唯一の自然干潟である盤洲干潟の自然のすばらしさと、人にとっての重要性を広く訴え、この干潟が将来にわたって保全され、後世代に引き継がれていくことを目的としている団体である。</p> <p>同会は、定期的な野鳥等の生物観察会の開催、ガイドブックの発行並びに、地元の公民館まつり、各種自然保護イベントの参加等の活動を行っており、盤洲干潟の存在やその重要性を、木更津市民及び東京湾岸の市民に広く認識させている。</p> <p>また、「干潟クリーン作戦」等の定期的な清掃活動を通じて、同干潟の環境の保全に多大な貢献を果たしている。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
富山県	<p>高岡市中田地区記念物保存会 たかおかしなだちくきねんぶつほぞんかい</p> <p>会長 蔭島 章 会長1名 副会長2名 顧問4名 参与4名 理事31名 監査2名</p>	<p>同保存会は、県指定天然記念物「上麻生のあしつきのり」、「トミヨとゲンジボタル及びヘイケボタル生息地」等の保護・保全を目的に、多年にわたり天然記念物の生息地である用水路や親水公園の環境整備活動を実施している。</p> <p>また、用水路や公園整備事業の実施にあたっては、生物の生息に配慮する観点から提言を行うなど、水環境の保全に寄与した功績は多大である。</p> <p>さらに、天然記念物やホタルに関する普及啓発イベントを開催して水環境の保全を啓発するとともに、生活排水対策等の水質保全に関して地道な普及活動を展開しているほか、地元小中学校の環境教育活動に対し、積極的に支援・協力するなど、地域住民の水環境保全意識の高揚に多大な貢献をしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保護・保存事業 <ul style="list-style-type: none"> ・天然記念物の生息地、用水路、公園等の環境整備 ・天然記念物の保護 2 調査・研究事業 <ul style="list-style-type: none"> ・天然記念物、文化財に関する調査研究、天然記念物の生息環境に関する調査研究 ・天然記念物に関する資料及び研究成果の収集・整理・発表 3 啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発イベント（ホタル観察会など）の開催、普及啓発パネルの作成・展示 ・パンフレット、用水路の環境保全啓発ちらし等の作成・配布
石川県	<p>特定非営利活動法人 世界の砂漠を緑で包む会 とくていひえいりかつどうほうじん せかいのさばくをみどりでつつ</p> <p>会長 大澤 俊夫 役員 17人 個人502人、法人98社</p>	<p>平成15年より、中国内モンゴル自治区アラ善（アラシャン）地域における砂漠化防止事業、天津市大港区の海岸防風林事業、四川省震災復旧植林事業等を実施している。</p> <p>これまで、JICA、日中緑化交流基金、日本郵政公社国際ボランティア貯金、経団連、三井物産、イオン環境財団等の支援により、内蒙古、天津、台州に植林（220万本、2,200ha）を実施しており、各種支援団体から当会の活動は高く評価されている。</p> <p>平成19年にふるさと石川環境保全功労者表彰、平成21年に中国国家林業局から長年にわたる緑化活動が認められ、栄誉賞を受けた。</p>
山梨県	<p>リサイクル推進ネットワークひまわり りさいくるすいしんねつとわーくひまわり</p> <p>代表者 望月 昌子 構成員数 25名</p>	<p>平成6年より循環型社会の構築を目指し、リサイクル活動を中心とした環境活動を16年間実践している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル常設店を設置し、委託された遊休品をリサイクル品として取り扱うほか、手作り廃油石けん、古紙再生トイレットペーパー、EMぼかし及び竹炭等の環境に配慮した品を取り扱っている ・他女性グループと協賛し、農協広場において月1回のフリーマーケットを実施 ・県民の日、男女共同参画センター、ドラゴン縁日（地域行事）等のフリーマーケットに参加し遊休品リサイクルを推進 ・障害福祉サービス事業所と提携し、処分品について、さらなる再利用を依頼 ・環境意識の高揚、資質の向上を心がけ、先進地研修、講習会を実施。会員だけでなく、他グループ、一般住民に参加を呼びかけ、啓発活動として実施 ・他団体の各種学習会にも積極的に参加 <p>※活動実績（平成6年から平成23年9月末日まで） 登録者（遊休品持込依頼者）1,300人 リサイクルされた品数 134,048品</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県別	氏名・年齢・住所・職業	功績
山梨県	<p>こぶち消費生活研究会 こぶちしょうひせいかつけんきゅうかい</p> <p>代表者 坂本 初美 構成員数 30名</p>	<p>昭和51年より小淵沢町で活動を開始し、「生活改善」を目指して、省資源、省エネルギー運動などの環境活動に継続して取り組んでいる。</p> <p>活動内容は廃油を利用した石鹸や自然食品作り等を定期的にも実施し、廃油の回収作業も推進している。地域の商工会とも連携して、マイバック運動に取り組み、ごみの減量化にも努めている。</p> <p>また、廃油の回収作業や生ごみの堆肥化、ほかし作りなどの学習会、講演会を実施したり、「こぶち消費生活学校だより」（平成18年市町村合併後は、他地区の消費生活研究会とともに、「北杜市消費生活研究会だより」）を発行したりするなど、普及啓発活動にも努めていることは、他の模範になるところである。</p>
愛知県	<p>竹中 千里 たけなか ちさと</p> <p>名古屋大学大学院教授</p>	<p>専門分野の森林生態系に関する知見を活かし、以下の審議会等の適正な運営に尽力された。</p> <p>（愛知県自然環境保全審議会委員） 平成10年3月から平成13年3月まで3年1月にわたり、愛知県自然環境保全審議会委員として森林環境化学に係る専門的事項の審議に貢献した。</p> <p>（愛知県環境審議会委員） 平成13年4月から平成20年7月まで7年4月にわたり、愛知県環境審議会委員として森林環境化学に係る専門的事項の審議に貢献した。</p> <p>（愛知県環境審議会委員） 平成13年4月から平成23年3月まで10年にわたり、愛知県環境影響評価審査会委員として、専門である森林環境化学の知識を活かして、環境影響評価案件の審査に貢献した。</p>
愛知県	<p>吉川 公章 よしかわ こうしょう</p> <p>社会医療法人 宏潤会理事長</p>	<p>数多くの公害健康被害者の治療に当たる医師の立場から、以下の審議会等の適正な運営に尽力し、環境保全行政の推進に貢献している。</p> <p>（愛知県公害健康被害認定審査会） 平成12年9月から平成22年8月までの10年間、公害健康被害の補償等に関する法律第44条に基づき設置された愛知県公害健康被害認定審査会の委員として、公害健康被害者の認定更新や障害者等級診査等の判断に尽力した。</p> <p>（愛知県公害診療報酬審査会議） 平成19年4月から平成21年3月までの2年間、愛知県公害診療報酬審査会議審査員として同法第19条に規定された療養の給付に係る診療報酬請求書の審査に尽力し、さらに平成21年4月からは、同審査会議の議長として、同会議全体のとりまとめに尽力した。</p>
京都府	<p>上宮津緑の少年団 かみやづみどりのしょうねんだん</p> <p>団長 安井 祐男（上宮津小学校 校長） 団長1名、副団長2名、構成員数 22名</p>	<p>上宮津緑の少年団は、平成2年に学校団として設立され、主に高学年が参加し、活動を継続してきた。学校林での森林保護や樹齢300年以上の天然杉が自生する杉山の観察など校区の自然を活かした体験活動の中で、地域の方々から知恵と技を学んでいる。また、全校活動として学校茶畑で茶の栽培を行っており、全校茶摘みや手もみ製茶など、ふるさとの自然や文化を愛する心を育てている。</p> <p>長年にわたる「上宮津杉」の観察、木の周辺測定、草木の名前付け等の活動を通じ、植生の状態や水源との関わりを学習するとともに、「杉山」を守り育ててきた人々や上宮津地区の林業、歴史について理解を深め、緑や地域を愛する心を育ててきた。子どもたちの取組は上宮津地域全体、また、広く市民への理解、啓発に大きく貢献し、評価に値するものである。</p> <p>・主な活動地域（公園・地域名）及び年間活動日数 大江山杉山地区 年間10日間程度 学校茶畑 随時 ほか</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
大阪府	<p>一般社団法人 たかつき環境市民会議 いっばんしゃだんほうじんたかつきかんきょうしみんかいぎ</p> <p>代表 石井 直樹 役員6名、構成員100人</p>	<p>○本団体は、高槻市のパートナーシップ組織として、高槻市環境基本計画の理念にそって、実践活動の中から市民・事業者の行動計画「たかつきローカルアジェンダ21」を創りあげ、毎年取組と計画の改定を实践。</p> <p>○9つのテーマ（里山、水環境保全、エコビレッジ、エコライフ、ごみ減量、エコ事業所、人にやさしい交通、環境講座、プレス&環境ガイド）ごとにグループに分かれ、それぞれのフィールドで実践活動を進めている。</p> <p><主な活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ●摂津峡クリーンハイキング（全体事業） 毎年8月に、市民、事業者呼びかけて、河川をハイキングしながらゴミ回収を行う。 ●市民環境講座（全体事業） 市民の関心が高い環境問題をテーマとして、基調講演、パネルディスカッションなどを行う。毎回約100人が参加。 ●里山や竹林の間伐（里山グループ、エコライフグループ） 高槻の面積の半分を占める森林を有効に残すため、放置された里山や竹林の間伐、堆肥づくりなどを行う。 ●竹を使った水鉄砲・竹馬作り、竹の堆肥化（エコライフグループ） 伐採した竹を、親子で竹細工を楽しむイベントなどに利用したり、地域の世代間交流に活かす。 ●樹木の植生状況調査と名札の取り付け（里山グループ） 市内3公園の樹木への名札の取り付けを行い、より住民が自然に親しめるまちづくりに取り組んでいる。 ●子ども樹木博士認定試験（里山グループ） 子どもたちに樹木に親しんでもらうため、樹木の名前を覚える「子ども樹木博士認定試験」を実施。 ●「芥川創生事業」への協力（水環境保全グループ） 「芥川倶楽部」と協力し、「魚みちの整備によるアユの遡上」、「芥川クリーンアップ」、「外来生物ミズヒマワリの駆除」などの芥川創生事業に取り組んでいる。 ●雨水タンクの普及活動 雨水の有効活用を図るため、樹脂製の容器を雨水タンクに加工し、市民へ普及させる活動に取り組んでいる。 ●「タウンミーティング」（人にやさしい交通グループ） 環境にやさしい乗り物である自転車の普及のため、自転車道の整備や交通マナーの問題などについて意見交換するイベントを開催。警察や商店街、行政等と連携し、マナー向上の取組を進めている。

地域環境保全功労者功績内容等

県別	氏名・年齢・住所・職業	功績
兵庫県	<p>中山台コミュニティ緑化環境対策部 なかやまだいこにゆにていりよっかかんきょうたいさくぶ</p> <p>代表者 秦 清 部長1名、副部長1名 会員数36名</p>	<p>1 中山台コミュニティは中山台、中山桜台、中山五月台のニュータウンに住む1万4千人の住民が所属しているが、近隣の斜面には、花粉症や食物アレルギーを引き起こすとされるヤシヤブシが群生しており、花粉症に悩まされる住民が多かった。</p> <p>2 斜面が市有地だったことから住民らは平成6年ごろ、市に除去作業を依頼した。だが推定二万本と膨大な数で、民間業者に委託した場合、五億円の費用が見込まれた。</p> <p>3 自分たちでやるしかないと感じた住民は平成7年に自治会協議会に緑化環境対策部を発足し、活動資金として一戸当たり年百円を積み立てる緑化基金を創設。住民がヤシヤブシを伐採し行政が処理するというように行政や各界専門家と対策を協議した。</p> <p>4 ヤシヤブシの徹底除去に着手して13年後の平成20年、推定2万本の膨大なヤシヤブシが一掃された後には、在来種のツツジやサクラ等がよみがえり、シンボルゾーンとして「ヒペリカムの丘」等が整備され、住宅地としての魅力を一層高める美しい緑地空間に変貌した。</p> <p>5 「行政だけでも、住民だけでもできないことを共に協力して～」をモットーに、明確な役割分担のもと、市と合同緑化活動等を定例的に行う等して、官民協働の関係を構築し、最近では、地区内の5公園について市と管理契約を締結して自治会が管理業務を請け負うほか、小学校のPTAや教員も一緒になり、教育活動の一環として学内の緑化活動にも発展している。</p> <p>当団体は、活動のさらなる継続と発展を目指すため、「美しい自然に囲まれた快適な暮らし」の実現に向けて、日々、地道な活動を実践している。</p>
島根県	<p>日高 延子 ひだか せいこ</p> <p>松江市連合婦人会会長</p>	<p>松江市生活環境保全審議会副委員長並びに「松江市環境基本計画」策定委員を務め、市民・事業者・行政の各主体の先頭に立ち、環境の保全や創造に向けた活動に協働した取り組みを行うための行動指針策定に尽力した。</p> <p>また、まつえ環境市民会議の副代表として、里山の保全活動、水辺環境保全のため清掃活動の拡充に努め、生ごみ減量をテーマにした料理教室の開催やマイバック推進の啓発活動に尽力し、CO2削減に繋がる「平成22年4月レジ袋の無料配布廃止」の実施に貢献した。</p> <p>さらに、地球温暖化防止に向けた取り組みとして、グリーンカーテン運動を自ら推進し、市民の皆さんへゴーヤ苗の無料配布を行い市内全域に広めた。</p> <p>良好な環境を次世代へつなげていく地域のリーダーを育成するため、環境講演会を開催するなど、環境意識の高揚に中心的な役割を担った。</p> <p>平成21年11月、地域功労が認められ、松江市制施行120周年記念特別功労者表彰を受けられた。</p>
島根県	<p>福島 利光 ふくしま としみつ</p> <p>松江市生活環境保全推進員代表</p>	<p>平成8年4月から松江市生活環境保全推進員の前身であるリサイクル推進員を務め、平成14年4月より自治連合会・公民館からの推薦者で構成する松江市生活環境保全推進員の代表に就任した。新市合併後も代表として卓越した指導力を発揮し、良好な環境を次世代へつなげていく地域のリーダー育成や、活動の充実発展に尽力した。</p> <p>また、自治会役員や生活環境保全推進員の一人としても長年活動し、河川・公園・道路の清掃活動等にきめ細かく取り組むとともに、地元上乃木地域“けやき通り”の美化推進地域指定（市条例）に尽力され、地域の環境保全・美化、住民の環境意識向上に貢献した。</p> <p>さらに、平16年から島根県地球温暖化防止活動推進員として、研修会等に積極的に参加し各方面の状況等について学び、地域住民への普及啓発活動や、国や地方公共団体が行う温室効果ガスの排出抑制等の施策に対し協力するとともに、各関係機関と連携し積極的に諸活動に参加した。</p> <p>まつえ環境市民会議副代表として、生ごみ減量をテーマにした料理教室の開催や、マイバック推進の啓発活動に尽力し、CO2削減に繋がる「平成22年4月レジ袋の無料配布廃止」の実施に向けて貢献した。</p> <p>平成21年11月、地域功労が認められ、松江市制施行120周年記念功労者表彰を受けられた。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
岡山県	<p>吉野川清流隊 よしのがわせりゅうたい</p> <p>代表 橋本 勝利 隊員97名、サポーター22名（平成23年4月現在）</p>	<p>岡山県美作市・勝田郡・英田郡の小学4～6年生から参加希望者を募り、「川を愛する心」・「自然を愛する心」・「物を大切にすることを三信条として、長年にわたり地域の環境保全と地域児童の環境意識の向上に取り組んできた。</p> <p>特に、毎年行っているキャンプにおいては、川遊びや清掃活動・水質検査、下水処理場の見学、山林の下草刈り等、毎年工夫を凝らした多彩なアクティビティを通じ、子どもたちが楽しみながら学べる環境に関する学習を行っている。</p> <p>また、こどもエコクラブとしての活動も積極的に行っており、平成13年から20年まで連続して県主催の活動報告会・交流会に参加している。</p> <p>なお、結成初期の参加者はすでに社会人となっており、元参加者がサポーターとして団体の運営に参加するなど、地域において世代を超えた環境保全の取組が続いており、その功績はきわめて顕著である。</p>
広島県	<p>塚脇 洋二 つかわき ようじ</p> <p>特定非営利活動法人 広島循環型社会推進機構アドバイザー</p>	<p>1 株式会社広島テクノプラザにおける功績 同社が実施する産学官交流促進事業において、「環境関連研究会」の事務局を平成5年～13年3月までの8年間担当する中で、職務を越えて幅広い人脈を築き、環境技術の向上や広島県内を中心とした環境関連産業の振興に大きく寄与した。</p> <p>2 特定非営利活動法人広島循環型社会推進機構事務局長としての功績 平成17年4月～21年3月まで4年間、同機構の事務局長として、資産管理や事業調整などの事務の総括という激務の中で、会員同士のネットワークや信頼関係の構築を通じて、同機構の活動を磐石なものにした。 また、全国的にも例のない、広島県独自の産学連携による廃棄物リサイクル技術の研究開発事業の推進という、先人が皆無な分野で多大な貢献をした。 平成18年度からは、学生の教育の場として、会員企業が学生を短期間受け入れ、廃棄物の処理や管理を学んでもらう「インターンシップ事業」を行うなど、今後とも幅広い社会的貢献活動の継続が期待できるのも、氏の尽力の結果である。</p> <p>3 特定非営利活動法人広島循環型社会推進機構専務理事としての功績 平成17年4月～21年6月までの4年3か月、同機構の専務理事として就任し、理事会などの意思決定の場において、私利私欲に流されない、高潔の立場を貫き通すことなどを通じて、産学連携による広島県発リサイクル技術の研究開発という、NPO法人の活動にとって、余人をもってしては代えがたい実績を残してきた。</p>
広島県	<p>特定非営利活動法人 I N E O A S A とくていひえりかつどうほうじん いーね おおあさ</p> <p>理事長 保田 哲博 理事6名（うち理事長1名、副理事長2名）、監事1名、ほか会員22名</p>	<p>平成13年～ 平成17年～ 平成18年～ 平成20年～ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「菜の花ECOプロジェクト」として、廃食油回収によるバイオディーゼル燃料（BDF）精製・販売（年間約1万ℓ）を行うとともに休耕田を利用した菜の花の栽培を行う。 ・スイスのバイオカーブ社と、BDF技術協力提携を締結。 ・地元小学校と連携し、年間を通じた環境学習カリキュラムを作成して実施する。 ・環境にやさしい菜の花緑肥米をブランド米「びゅあ菜米」として販売する。 ・農林水産省よりモデル地区指定を受け「農業生産地球温暖化総合対策事業」を実施する。 <p>その他、古紙や金属などの回収、木質バイオマス利活用の研究、菜種油の製造・販売など多面的に活動しているほか、環境や資源循環社会をテーマとしたイベントや講演会、視察対応など多数あり。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
広島県	<p>めだかの学校 めだかのがっこう</p> <p>代表者 大野 里子 会員：25人 サポーター：6人</p>	<p>平成11年4月 ・市内の広範な地域から子どもたちが集い「子どもエコクラブ」として、「河川の環境学習」というテーマのもと活動を開始。</p> <p>平成11年～ ・「川」や「水」についての学習を重点に、ふるさとの川「芦田川」の上流から下流にわたり、川に生息する水生生物を指標にした水質調査を継続して実施。</p> <p>・また、カヌー体験、野鳥の観察、ホタルやオオムラサキの学習等、様々な視点から芦田川についての環境学習を実施。</p> <p>・さらに活動範囲も芦田川流域はもとより、川から海へとフィールドを広げ、瀬戸内海に浮かぶ「仙酔島」で、「出会った 見つけた 福山の宝物」と題し、動植物の自然観察・調査を行い、様々な生物との出会いと驚きを体感するなど活動に「ひろがり」及び「つながり」が育つ。</p> <p>平成19年 ・芦田川に生息する絶滅危惧種である「スイゲンゼニタナゴ」のふるさとを訪ねるため、韓国の水原川・安城川へ魚調査に出かけ、韓国の高校生たちと交流を深める。</p> <p>平成21年 ・水原市の学生を福山に招き、芦田川で水生生物調査を行い、交流を深める。</p> <p>平成22年 ・芦田川浄化センターに見学に行き、汚れた水を浄化するのには多くの設備とエネルギーを必要とし、微生物が活躍し水を浄化していることを学習。</p>
山口県	<p>秋吉台パークボランティアの会 あきよしだいぱーくぼらんていあのかい</p> <p>会長 木島 忠與 役員：代表者、運営委員、監事、顧問 構成員数：46名</p>	<p>秋吉台は、山口県を代表する景勝地であり、国定公園、特別天然記念物、ラムサール条約登録湿地に指定されている。この、景勝地の自然を守るために、修復・再生活動を長年にわたりボランティアにより行っており、その功績は顕著である。</p> <p>・秋吉台上で赤土がむき出しとなり景観を損ねていた場所（褐鉄鉱採掘地、草スキー場、大理石採掘場の各跡地）の修復・緑化を実現したほか、セイタカアワダチソウ、クヌギ、竹等、本来秋吉台の草原にはない植物の除去を行った。</p> <p>・修復に当たっては、会員の秋吉台に係る豊富な知識やデータに基づき、秋吉台の生態系にできるだけ影響を与えない方法を試行錯誤の上に見つけ出して実施している。</p> <p>・設立以来継続して自然歩道の修復に力を注ぎ、現在も月に1～2回程度の作業日を設け、石灰石のバラス等の投入による路面の修復と、ノシバによる緑化を行っている。</p> <p>・こうした従来の秋吉台の草原修復に加え、平成19年度からは、新たに設立された秋吉台地域エコツーリズム協会が主催するエコツアーに協力し、秋吉台の魅力の発信に努めている。</p>
福岡県	<p>宇美町連合婦人会 うみまちれんごうふじんかい</p> <p>会長 吉留 節子 役員 10名、構成員 80人</p>	<p>1 河川の浄化活動について 町内を流れる宇美川の汚濁が進んでいることから、「魚や、ホタルが住めるきれいな川に」を合い言葉に、平成2年から河川の浄化活動として、食用油廃油を回収し、石けん作りを始める。試行錯誤の中、企業や先催団体等のアドバイスを受け、商品化する。</p> <p>2 環境問題への啓発活動 保育園等から廃油の提供を受けるとともに、環境の大切さを子ども達と一緒に考える活動として、小学校での石けん造り講習会等を行い、また、さまざまな町内イベントにおいて販売を通じ啓発を行っている。さらには、収益金の一部を福祉団体等へ寄付し、地域への還元も行っている。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
大分県	<p>大塚 政雄 おおつか まさお</p> <p>宇佐市環境審議会委員（副会長）</p>	<p>氏は、多年にわたり、大分県下の植生に係る調査研究を行うとともに、各種講演会における講演や自然観察会の指導に従事するなど、自然保護、環境保全の普及啓発活動に尽力してきた。</p> <p>昭和50年からは自然公園指導員として活動し、くじゅう山系や由布岳などで登山道の状況調査を行うとともに、清掃登山の呼びかけを行っており、これらの功績により、平成8年7月には環境庁自然保護局長による「環境庁自然保護功労者表彰」を受賞した。</p> <p>平成13年、及び平成23年に刊行された大分県版レッドデータブックの作成にあたっては、「大分県野生生物保護対策検討委員会」の委員としてその完成に大きく貢献した。</p> <p>近年では、平成15年に設立された「宇佐自然と親しむ会」代表として、宇佐市生活環境課と共催で毎月1回自然観察会を開催しているほか、ごみゼロ活動の一環として年数回の海岸清掃活動を実施し、宇佐市海岸部に飛来するツルの調査研究や情報提供に関して、中心的な役割を果たしており、外来生物の除去活動における指導・助言等、精力的に活動している。</p> <p>さらに、平成16年からは大分県環境教育アドバイザーとして小学生等を対象とした環境教室で講演するなど、環境学習を通じて環境保全の重要性について普及啓発を行っている。</p> <p>また、平成23年7月より宇佐市環境審議会委員に就任し、宇佐市環境基本計画策定に尽力するなどその活動は広範にわたり、地域の環境保全における功績は顕著である。</p>
宮崎県	<p>興梠 幸男 こうらき よしお</p> <p>林業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所有森林内において稀少植物（クマガイソウ、キレンゲショウマ、エビネラン、シノメソウ）などの保護に努めるとともに、見学会などを開催し、保護の重要性等を訴えている。 ・所有森林を森林環境教育の場（植栽、駒打ち、下刈り、間伐、キノコ狩り等）として開放し、自らも指導にあたるなどしており、県内外から毎年900人ほど（県内6割、県外4割）を受け入れている。 ・「高千穂森の会」を結成し、広葉樹の植栽など地域住民やボランティアと共に五ヶ瀬川源流域での水源の森づくりに取り組んでいる。 ・夫婦でフォレストインストラクターの資格を有しており、県立五ヶ瀬中等教育学校の生徒を対象に年2～3回森林環境教育を行っているほか、「森の案内人」として県民等を対象に森林の果たす役割などの普及啓発活動を行っている。 <p>・HPは開設していないが、口コミで活動が広まっており、マイクロバスでの団体客やリピーターも多い。</p> <p>※フォレストインストラクター 宮崎県北部の5町村をモデル圏域とし、森林・林業を切り口とした新しい山村社会の建設を試みるフォレストピア宮崎構想の取り組みの中で養成された「森の文化の案内人」のこと。</p>
宮崎県	<p>有限会社 しゃくなげの森 ゆうげんがいしや しゃくなげのもり</p> <p>代表取締役社長 池辺美紀 10名</p>	<p>本施設は、平成8年から16年間「生命の学習」としてヤマメの人工授精見学を実施。また、平成14年度から毎年1回、7月から8月にかけて園内を流れる溪流の環境を生かして実施されている「やまめ祭り」において、「親子川遊びと安全教室」「カヌー体験教室」「川博士になろう」「川の工作教室」などのイベントを実施し、現在まで9年間継続した活動を行っている。この活動は、県内外から大人子ども合わせて毎年500人ほどが参加し、体験的な活動を通して環境学習を行うなど、環境教育の推進に大いに貢献している。</p> <p>また、環境省子どもエコクラブである「やまめクラブ」の代表サポーターとしても活動し、子どもたちの自然保護活動に対する全面的支援も行っており、UNEP（国連環境計画）の世界子ども環境サミットでは「やまめクラブのリーダー」を日本代表の事例発表者として導いた。</p> <p>さらに、県教育委員会の行う「みやざきの教育アシスト事業」にも登録しており、県内全ての学校を対象として体験学習の受け入れや環境教育に関する講師派遣等を行うなど、環境教育に全社を挙げて取り組んでおり、その活動は高く評価されている。</p> <p>代表者である池辺氏は、環境省登録の環境カウンセラーとして、また、宮崎県環境保全アドバイザーとして登録されており、三股町や都城市内の学校をはじめ、県内の各種団体の実施する研修会などで講師を務めるなど、広く環境教育推進に力を入れている人物であり、その功績は顕著である。</p> <p>「やまめ祭り」は本施設の恒例行事として定着し、毎年開催されている。その認知度はますます高まっており、今後も継続した活動がなされるものとする。また、代表者が国や県の環境教育に関する資格を取得したり、県教育委員会の実施する事業に積極的に参加したりするなど、環境教育に大変熱心な企業であり、今後更に環境教育に対する貢献度は高まってくるものと期待できる。</p> <p>このようなことから、地域環境保全に対する功績が顕著であり、その取組は宮崎県内の中でも模範となるものであるため、環境大臣表彰に十分に値すると考える。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
鹿児島県	<p>渡邊 紀子 わたなべ のりこ</p> <p>鹿児島大学名誉教授</p>	<p>・平成4年から長年にわたり鹿児島県公害対策審議会及び環境審議会委員として、本県の公共用水域の測定計画について、また、平成8年の鹿児島湾海域、平成11年の八代海南部海域における全窒素及び全燐に係る環境基準の類型指定及び平成18、19年度の河川環境基準類型当てはめの見直しにあたっては、水環境分野での専門的な立場から適切な指導・助言を行った。</p> <p>・平成20年からは同審議会水環境部会の部会長に就任し、会の運営に尽力するとともに、特に、水生生物の保全に係る環境基準の類型指定にあたっては、同氏の研究成果に基づく貴重な提言・助言を行うなど、本県の水環境保全対策の推進に大きく貢献した。</p> <p>・平成12年からは、公害紛争に関する調停等を行う県公害審査会委員に就任し、本県の公害紛争の解決に尽力するなど、本県の環境保全行政全般にわたって、顕著な功績が認められた。</p>
横浜市	<p>市沢・仏向の谷戸に親しむ会 いちざわ・ぶっこうのやとにしたしむかい</p> <p>代表者 藤川 信子 構成員数：35名（平成23年12月現在）</p>	<p>ホタルが飛び交う市沢・仏向の谷戸を中心に、水路の保全、里山・谷戸の景観を守る活動を通して私達のふるさとを創造していくことを目的に活動している。</p> <p>2つの谷戸の水辺と周辺の美化啓発活動（清掃・整備、水浄化、草刈、花植え等）を行っている。また、市民を対象とした各種観察会や研修、生き物植物調査を開催し、生物多様性や環境教育に貢献している。特にホタル観察会では毎年多くの市民が参加している。</p> <p>今後も、ホタルが自然発生する環境を見守り、その環境の大切さを行政と市民とともに認識し、分かち合うための活動を行い、谷戸の回復も行っていく。</p> <p>【平成22年度横浜環境活動賞を受賞しての感想から】 毎年6月中旬に「ホタル観察会」を開催しています。家族連れをはじめ多くの方々が参加する野外の会場で、ホタルの話や紙芝居、ある時はミニコンサートを観賞したり、そうして夕刻を迎えると、水辺へ向かいます。息をのんで見守る中、やがてふわり、ふわりと点滅し、飛び交う灯、灯。子どもも大人もみな歓声を上げ、その瞬間を喜び合い、水辺が灯りで満たされる頃には、行き交う人々がみな温かい優しい空気の中に包まれているのを感じます。</p> <p>ホタルがこの谷戸にずっと舞い続けてきたことが、私たちの会を支えてきた大きな、そして力強い要因だったと思います。平成21年に当会は創立20周年を迎え、記念イベントを岩間市民プラザで開催しました。タイトルは「ホタルが支えた20年」。ホタル、そして、その背景である谷戸の自然のすべてが私たちに照らし、育んでくれたことを感謝する機縁の年となりました。月定例の水質調査、花壇の整備、水路の清掃、草刈り、各種イベントなど、いろんな活動の原点にはそれが、加えて地主さん方、行政、市民の皆様と相まって、これまでの道程を歩んでこられたのだと感じます。</p> <p>今回の受賞を会員一同ありがたく心に受けとめ、また次の一步を踏み出していきたいと思っています。</p>
名古屋市	<p>海津 正倫 うみつ まさとも</p> <p>奈良大学文学部教授 名古屋大学名誉教授</p>	<p>平成13年2月、名古屋市環境影響評価条例に基づく環境影響評価審査会委員に就任し、環境影響評価等に関する技術的又は専門的事項について調査審議を行うなど、本市の環境アセスメントの推進にご尽力いただいている。</p> <p>現在、同委員として6期目（平成23年2月1日～平成25年1月31日）を迎え、高層建築物の建設、鉄道の建設、ごみ焼却等施設の設置など、これまで延べ15件の事業について、その専門分野（地形環境学）の観点から、地形・地質、地盤、安全性（治水）等の環境項目において、当該事業者が適切に環境影響評価を行い、より適正な環境配慮がなされるよう貴重な意見を述べていただき、本市の良好な環境の確保にご協力いただいている。さらに、名古屋市環境影響評価条例に基づき策定している技術指針を改定する際に、本市の環境影響評価が最新の科学的知見に基づき適切に行われるよう貴重な意見を述べていただくなど、多年にわたり本市環境行政の推進に多大な協力をいただいている。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
名古屋市	<p>山本 雅史 やまもと まさし</p> <p>名古屋市公害健康被害認定審査会委員</p>	<p>平成8年4月から15年以上の長期にわたり、名古屋市公害健康被害認定審査会の委員として、公害認定患者の審査業務に従事いただいている。</p> <p>公害健康被害にかかる個々の事例を審査する場合の判断基準は、全国的な状況や医学的に新たな知見等を考慮しながら本市としての知見を積み上げている状況であるが、その中でも、被推薦者は審議会委員の中で最も経験が長く、本市審査会の過去の経緯を熟知し、法律の福祉的見地にたちつつ、呼吸器疾患の専門医として最新かつ的確な意見を述べていただいております、公正でかつ円滑な公害補償制度の運営に果たす功績は大きい。</p> <p>また、近年の審査は、患者の高齢化に伴い判断が非常に難しい事例が増えており、たとえば、認定疾病以外に癌や心疾患、脳血管疾患を併発している事例や、寝たきりでもともと状態のよくない事例、一人暮らしで発見される死亡の事例など、判断に迷う場合がある。このような場合にも、過去の判断事例をひもとき、審査会としての方向性を示唆していただいている。</p> <p>さらに、審査会の中では、呼吸器専門医としての経験が豊富であり、年齢面、副院長という立場からも他の委員からの信頼が非常に厚く、審査会会長を補佐しつつ、審査会メンバーの中堅・若手の呼吸器疾患専門医の教育にも積極的に関わっていただいております、審査会委員の育成という面でもご尽力いただいている。</p> <p>加えて、本市の公害保健福祉事業として実施している転地療養事業への医師の派遣という点でも、病院の窓口として精力的に調整役をしていただくなど、公害保健行政全般にわたり積極的にご協力をいただいている。</p> <p>(最近10年間の学会の評議員等の経歴) 日本呼吸器学会、日本肺がん学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本結核病学会</p> <p>(現在兼務しているその他の職歴) 名古屋大学医学部臨床准教授 名古屋市感染症審査協議会第二結核部会委員</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
名古屋市	<p>松田 仁樹 まつだ ひとき</p> <p>名古屋大学大学院工学研究科・教授</p>	<p>平成13年の名古屋市廃棄物処理システム検討委員会委員就任をはじめとして、名古屋市の多くの環境関連委員会委員を歴任され、環境保全施策に対して、専門分野の観点からご意見をいただいている。</p> <p>平成22年4月からは、名古屋市環境審議会会長に就任するなど、本市環境行政の推進に多大なご協力をいただいている。</p> <p>また、その他、豊田市PCB廃棄物適正処理検討委員会委員をはじめとして、東海地方の環境関連委員も数多く歴任され、この地域に多大な貢献をされている。</p> <p>(参考) 過去10年の環境関連委員会委員の歴任状況 豊田市PCB廃棄物適正処理検討委員会委員 (平成12年-平成13年) 名古屋市廃棄物処理システム検討委員会委員 (平成13年-平成14年) 名古屋市環境審議会委員 (平成14年-平成20年) 三重県生活環境の保全に関する条例第95条に規定する専門委員 (平成14年～) 名古屋市事業系廃棄物問題検討会議委員 (平成15年～) 豊田PCB廃棄物処理事業に係わる安全監視委員会委員 (平成15年-平成19年) 名古屋市廃棄物処理システム検討委員会委員 (平成17年) 三重県フェロシルト問題検討委員会委員 (平成17年) 三重県亀山市斎場火葬炉設備検討委員会委員 (平成18年-平成20年) 岡崎市新一般廃棄物中間処理施設建設技術検討委員会委員 (平成18年-平成19年) 豊田PCB廃棄物処理事業に係わる安全監視委員会委員長 (平成19年-平成23年) 名古屋市新斎場火葬炉設備検討委員会委員長 (平成20年4月-平成21年3月) 名古屋市廃棄物処理施設専門委員会議委員 (平成20年8月～) 名古屋市環境審議会委員 (平成20年8月-平成22年7月) 小牧岩倉衛生組合ごみ処理施設技術検討委員会委員長 (平成21年5月-平成22年3月) 名古屋市環境審議会会長 (平成22年4月～) 名古屋市環境審議会環境基本計画部会委員 (平成22年4月～) 名古屋市産業廃棄物処理指導計画会議委員 (平成22年6月～) 小牧岩倉衛生組合ごみ処理施設技術仕様検討委員会委員長 (平成22年7月-平成23年3月)</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
堺市	<p>特定非営利活動法人 ASUの会 とくていひえいりかつどうほうじん あすのかい</p> <p>代表者 柴田 美治 会員24名（正会員14名、賛助会員10名） ※構成員：シニア</p>	<p><主な活動></p> <p>【家庭用廃食用油利活用事業での活動内容】 地域住民と協力連携して、一般家庭からの廃食用油を収集し、大阪府立大学の超音波反応法によるBDF製造技術を利用して軽油代替燃料となるバイオディーゼル燃料（BDF）の製造を行っている。回収協力世帯やエリアを拡大するとともに、品質の高いBDFを精製し、本市のごみ収集バッカー車の燃料として提供しており、低炭素都市の実現に貢献している。（回収協力世帯数 約30,000世帯）</p> <p>【堺市環境都市推進協議会での活動内容】 堺市は環境モデル都市として、市民・企業と連携・協働して温室効果ガスの大幅な削減に取り組んでいくため「堺市環境都市推進協議会」を設立している。同協議会に参画しているNPO法人として、活動実績や市民協働の視点から積極的に意見や事業提案を行い、低炭素都市に向けた本市の取組みを支えている。</p> <p>【堺エコロジー大学での活動内容】 環境に関する様々な知識を学び地域での環境活動に取り組む人材を育成する「堺エコロジー大学」の設立に向けた検討会議での提案、意見提出をはじめ、同大学設立後は運営会議での市民参画手法についての助言や、自らが主催しての講座の実施等、市民の環境意識の向上に努めている。</p> <p><表彰歴></p> <p>平成20年11月 ソロプチミスト日本財団 「環境貢献賞」受賞 平成20年12月 大阪商工会議所、大阪NPOセンター「CB・CSOアワード2008」 優秀賞受賞 平成23年 2月 堺市環境活動表彰受賞</p>
神戸市	<p>森澤 眞輔 もりさわ しんすけ</p> <p>京都大学iPS細胞研究所 所長補佐（特定拠点教授） 京都大学名誉教授</p>	<p>多年にわたり、神戸市の環境影響評価制度における第三者機関である「神戸市環境影響評価審査会」の委員（平成9年～平成23年）として、主に土壌・地下水・廃棄物・地球環境の分野を中心として、厳正な調査審議に尽力された。さらに、実際の事業実施による環境影響についての審議のみならず、市における環境アセスメントの技術・精度の向上のため、環境影響評価技術指針の改正や、各種アセスメントマニュアルの作成にもご尽力いただいた。</p> <p>大学では、主に土壌・地下水汚染の機構解明と制御・修復技術、放射性物質・微量汚染物質の地球規模循環と人への健康影響評価、循環型廃棄物処理システムの構築とリスク管理における分野の研究に従事され、各種学会等において、学会賞・論文賞等の受賞実績があり、その成果を主に環境影響評価・環境政策の分野において社会に還元し、多大な功績を残されている。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
関東地方環境事務所	<p>高橋 弘二 たかはし ひろじ</p> <p>横須賀「水と環境」研究会代表 かながわ環境カウンセラー協議会副理事長</p>	<p>1. 地域活動</p> <p>(1)横須賀「水と環境」研究会創立以来、月2回（原則）横須賀を中心に三浦半島を流れる中小河川を歩き、水質・水生生物・水辺環境調査を行い、調査結果を市民へ広報・周知するとともに、行政への保全・再生・改善提案・提言を行う（1988～現在）。</p> <p>(2)横須賀市内の流域人口の多い平作川、竹川、野比川について、調査結果をまとめた「川のかんきょうお知らせ板」（A3カラー）を20～30枚作成し、川の欄干・フェンスに設置、川の環境現況を知らせ、啓発を行う（半年取替、2005～現在）。</p> <p>(3)研究会独自の水質評価法により、水質・水生生物調査の結果をわかりやすい色別ランクの調査マップとしてまとめ、環境フォーラム・シンポジウムなどで展示・説明。この水質評価法が着目され、環境省の「水環境健全性指標検討調査委員会」（2004～2010）、「湧水保全・復活活動支援検討会」（2007～2009）に市民活動団体の代表として参画した。現在も「みずしるべ」調査の試行などに協力している（1993～現在）。</p> <p>(4)毎年、環境省・全国水生生物調査に協力し、三浦半島の河川の水生生物調査（年十数回、延べ参加者約200名）を実施（1995～現在）。</p> <p>(5)「すかつ子セミナー」を創設・運営し、自ら「自然系A（川）コース」「自然系D（海・山）コース」を担当する。修了生延べ550名（2002～現在）。</p> <p>上記の活動を企画・実践・主導し、会報・横須賀「水と環境」研究会だより（220号、毎月発行、350部）を作成、広報啓発活動を行う。</p> <p>2. 環境教育・環境学習</p> <p>(1)市内小中学校で「身近な水」「よこすかの川」等をテーマとした出前授業や、野外での水質・水生生物調査を指導：年10～15学級（1995～現在）</p> <p>(2)生協や他市民団体、教職員研究会などからの依頼で「水環境」に関するセミナー講師や川の案内解説：年2～5回（1993～現在）</p> <p>(3)かながわ環境カウンセラー協議会で「環境教育インストラクター養成講座」「総合研修会」の企画・運営、及び講師（2009～現在）</p> <p>3. 委員会活動（○は会長、●は副会長）</p> <p>(1)横須賀市：環境審議会、●地球温暖化対策地域協議会、○環境教育・環境学習ネットワーク会議、港湾環境検討会他</p> <p>(2)神奈川県：水源環境保全・再生かながわ県民会議、○めぐりの森利活用推進会議、三浦半島エコミュージアム連絡会他</p>
関東地方環境事務所	<p>日光パークボランティア連絡会 にっこうぱーくぼらんていあれんらくかい</p> <p>日光パークボランティア連絡会長 藤井 聡明 構成員数 63名</p>	<p>長年にわたり、日光国立公園奥日光地域を中心に、自然解説、利用者指導等を行い、奥日光地域を訪れる利用者に対して、国立公園の保護と利用に関する普及啓発を通じて、地域環境の保全に多大な貢献をしてきた。また、在来植物の保護増殖や外来植物の駆除、自然環境調査等を実施し、地域環境の保全施策の推進に大いに寄与してきた。（H20年度活動実績：のべ890人日、H21年度活動実績：992人日、H22年度活動実績：833人日）</p> <p>○自然解説：昭和62年から実施。現在も継続して活動 戦場ヶ原、小田代原等において自然観察会、朝夕散策ガイドを実施するとともに、日光湯元ビジターセンターにおける解説補助等を実施している。</p> <p>○利用者指導：昭和62年から実施。現在も継続して活動 遊歩道等において、自然環境保全のためマナー向上を促す普及啓発を行っている。</p> <p>○美化清掃：昭和62年から実施。現在も継続して活動 奥日光地域において清掃パトロールを実施し、クリーンキャンペーンに参加している。</p> <p>○野生植物の保護管理：昭和62年から実施。現在も継続して活動 シカによる食害を防止するため湯ノ湖畔において食害防止ネットの設置・管理・冬季撤去等を行うとともに、ヤナギラン等の在来植物の保護増殖やオオハンゴンソウ等の外来植物の駆除に取り組んでいる。</p> <p>○自然環境調査：昭和62年から実施。現在も継続して活動 開花した植物の情報発信、シカによる食害を受けた樹木の調査や定点調査等を実施。また、平成20年からは戦場ヶ原におけるシカの進入防止柵設置による植生への影響を調べるため、簡易植生モニタリング調査を実施している。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
関東地方環境事務所	<p>オオハンゴンソウ等外来植物除去作戦実行委員会 おおはんごんそうとうがいらいしよくぶつじよきよさくせんじつこう いいんかい</p> <p>日光市役所 日光総合支所長 藤田 高行 構成員 14団体</p>	<p>昭和51年から当該団体の前身組織である「日光戦場ヶ原湿原保全対策連絡会議」が関係行政機関や、地元自然保護団体、地元企業等との協力により大規模な除去活動を継続してきた結果、戦場ヶ原の湿原内のオオハンゴンソウがほぼ根絶され、在来種への影響が減少し、貴重な湿性植物の保全が図られている。</p> <p>現在も周辺の奥日光地域において、地元の自治会や観光協会など民間団体が参画した実行委員会主催のもと、地元住民、企業が中心となったボランティア活動によるオオハンゴンソウ等外来植物の防除作業が積極的・継続的に実施されている。外来生物法に基づき、平成18年2月1日より特定外来生物として規制対象となったオオハンゴンソウ等の除去活動を通じて、地域自然環境の保全や地域環境保全に対する普及啓発に多大な貢献をしている。</p> <p>・設立（平成14年）～現在まで、年間約200名～300名が、オオハンゴンソウ等除去作戦に参加</p>
中部地方環境事務所	<p>中野 昭彦 なかの あきひこ</p> <p>環境カウンセラー</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. (株)セイコーエプソンの米国環境保護庁「成層圏オゾン層保護賞」ベスト・オブ・ベスト受賞に対する技術等で関係する。 2. 環境カウンセラーズ信州の会長及び役員として、環境啓蒙活動・実践活動へ取り組む。 3. 長野県地球温暖化防止推進員（2003年11月～現在まで）として、地球温暖化防止活動の啓蒙活動（講演会・展示会・省エネ活動等）に取り組む。 4. 茅野市環境審議委員として、茅野市の環境審議事項に取り組む。 5. NPO法人八ヶ岳森林文化の会の理事長及び役員として、森林保全・自然保護活動に取り組む。 6. 茅野市の「市民の森を創る会」を通して、里山再生及び森林保全活動に取り組む。 7. 茅野市地球温暖化防止活動協議会の役員及び「ストップ温暖化すわの会」の役員、会長として、諏訪地域の地球温暖化防止活動の啓蒙及び実践活動に取り組む。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
北海道	<p>上斜里フラワーロード推進協議会 かみしゃりふらわーろーどすいしんきょうぎかい</p> <p>会長 佐藤 昇 会員数13人</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>フラワーロード設置による景観形成・美化活動</p> <p>17年</p> <p>5月から10月</p> <p>清里町の主要道路である国道334号と道道摩周湖斜里線の沿道3km</p>	<p>清里町郊外の道道摩周湖斜里線から眺める斜里岳と馬鈴薯の花が多くの観光客の心を和ませていたが、その沿道に畑を所有している農家等が結束し、さらに美しい景観の形成と美化を目的として、道路沿いの畑にコスモスの植栽を始め、平成5年に「上斜里フラワーロード推進協議会」を発足した。以来、8月中旬から10月中旬の開花時期には、斜里岳と色とりどりのコスモスが織り成す姿が、訪れる多くの人々の心を魅了することとなり、「コスモスロード」と呼ばれるようになった。</p> <p>5月末に播種作業を行い、その後の生育管理作業は、各構成員が所有している畑の部分を農作業の合間に各々で実施している。</p> <p>協議会の設立当初は農家11戸で、道道摩周湖斜里線沿いに2kmの延長であったが、現在は13戸に増え、活動範囲も国道334号線沿いを加えて約3kmと広がりをみせている。</p> <p>この「コスモスロード」の活動が影響し、町内で沿道にコスモスを播種する農業者や住民が増えるなど、町全体に植栽による美化活動が普及し、平成15年には清里町の住民による活動の成果が認められ、全国花の町づくりコンクールで農林水産大臣賞を受賞した。</p> <p>これらの成果は、これまで本協議会が地道に続けてきた活動が、多くの住民に理解され実施された結果であり、本協議会の果たした功績は大きい。</p>
北海道	<p>リタロードを守る会 りたろーどをまもるかい</p> <p>会長 小嶋 研一（小嶋内科医院長） 会長1名、副会長3名、幹事9名、構成員41名（役員含む）</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>道路の清掃活動及び植樹樹への植栽活動及び町民への美化意識啓発活動</p> <p>11年</p> <p>5月～6月頃「清掃活動」及び「植栽活動」 10月～11月頃「植樹樹の環境づくり活動」水やり等の維持活動については適時行っている</p> <p>JR余市駅前を起点とする余市町役場までの約1.3kmの区間（通称「リタロード」）</p>	<p>ニッカウキスキー創業者の竹鶴政孝氏の妻、リタ夫人の出身地という縁から、昭和63年にイギリスのストラスケルビン市（現イースト・ダンバートンシャイア市）と余市町が姉妹都市提携の調印を行いました。その記念事業として、余市駅前から余市町役場までの1.3kmを、竹鶴政孝氏とリタ夫人のロマンを伝える道として整備する「リタロード」整備計画が策定されました。このリタロードを自分達町民の手で作作り、維持し、整備していくことで、町民の美化意識を啓発し、また町民に愛される道としていこう、との考えから結成されたのが「リタロードを守る会」です。</p> <p>平成11年10月に当会の前身である「余市町のまち並景観を考える会」が「リタロード植樹祭」を行って以降、12年間の長きに渡り「リタロード」の清掃、植樹樹への植栽活動及び維持管理を続け、活動に協賛する多くの団体やボランティアの助けを借りながら、「リタロード」を余市町民の道として根付かせるとともに、地域の景観美化や住民の環境意識の向上に貢献して来ました。また、「リタロード」沿線の様々なイベントに積極的に協力し、より町民に愛される道となるよう日々活動しています。</p> <p>こうした功績が認められ、平成15年に国土交通省から「手づくり郷土賞」を、平成23年には道路功労者北海道開発局長表彰を受賞しました。これらを励みに、町民主導の美しいまちづくりの先駆者として、「リタロード」を次の世代へと繋げて行くことが期待されています。</p>
青森県	<p>十和田市名水保全対策協議会 とわたしめいすいほぜんたいさくきょうぎかい</p> <p>会長 竹島 勝昭 顧問(1)、会長(1)、副会長(2)、理事(5)、監事(2)、会員(54)</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>名水の水質検査、湧水地調査、名水地の清掃活動、植樹作業、自然に親しむウォーキング、野点会等</p> <p>23年10月</p> <p>60日</p> <p>十和田市内</p>	<p>十和田市の湧水4ヶ所が県の名水に認定された翌年にその名水を保全しようと、竹島会長を中心に有識者や名水地代表、市民により設立された十和田市名水保全対策協議会は、今日まで長年にわたり名水地の環境や施設の保全活動を続けてきました。このため、今日まで名水地は昔の姿を残しながら、憩いの場として市民に親しまれています。</p> <p>また、協議会では他県他市町の名水地を観察し、その知識を深めながら、今後の名水地の保全方法を各方面に働きかけたことにより、2ヶ所の名水地が公園として整備され、他の2ヶ所が改善整備されより利用しやすくなりました。特に沼袋名水地においては、杉の木150本伐採し、広葉樹の植樹により水質改善もなされました。</p> <p>市民の環境への意識を高めるため、自然や山に詳しい講師を招き、国立公園内でのレクリエーションの企画等も行っており、生活環境改善への功績は非常に大きいものと考えます。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・年齢・住所・職業	活動内容		功績
青森県	<p>新郷遊魚会 しんごうゆうぎょかい</p> <p>会長 梅川 和雄 会長1名 副会長3名 理事9名 事務局長1名 会計1名 監事2名 会員140名</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>川清掃・稚魚放流・用水路の草刈りと清掃・釣り大会他</p> <p>昭和59年設立から現在に至る</p> <p>11日間</p> <p>五戸川と三川目川</p>	<p>昭和59年の設立以来、昔のきれいな川を取り戻そうと、河川の清掃活動や環境保護を訴える看板設置を行っています。</p> <p>村内外の会員で構成されていますが、活動には、保育園児や小中学生も参加していることから環境保護の精神が次世代へと受け継がれていくことが期待されます。</p> <p>最近では、県南地方溪流釣り大会を開催し、県南各地はもとより県内各地より注目を浴び、更なる地域活動として定着しています。</p>
岩手県	<p>小田部落会 こだぶらくかい</p> <p>会長 門場 政一 会長1名、副会長1名、専門部長4名、事務局2名 他6名 101世帯 237名（住民基本台帳 9月末現在）</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>毎月定期的な道路及び河川の清掃活動を行っているほか、道のいたる所に花が植えてありやすらぎとゆとりを感じさせる環境美化活動や、むらづくり等活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>昭和47.5～現在に至る（約40年間）</p> <p>5～10月（毎月第2日曜日）活動</p> <p>岩手県岩手郡葛巻町葛巻小田地区</p>	<p>小田部落会では、昭和47年から現在に至る約40年間もの長きにわたり、5～10月の第2日曜日に、道路沿及び河川沿の草刈と清掃活動を毎月実施し、環境美化に大きく貢献している。</p> <p>山村の集落でありながら、自治会単位で「景観形成住民協定」を岩手県内で2番目に締結し、屋根の色や壁色の統一、草花・樹木などの植栽推進など、農村風景に合った美しい景観づくりに取り組んでいる。</p> <p>集落を訪れると、民家の庭先や道のいたる所に花や樹木が植えてあり、訪れる人が「ほっ」とできるやすらぎとゆとりを感じさせる美しい農村風景を創りだしており、「農山漁村快適環境づくり活動モデル地域」にも指定されている。</p> <p>また、集落で花壇や樹木の定期的維持管理にも努めており、地域住民が一体となったむらづくりや自分たちの住む地域の環境について考え、住む人や訪れる人が、やすらぎとゆとりを感じさせる環境美化活動に積極的に取り組んでいる。</p>
福島県	<p>港ヶ丘行政区 みなとがおかぎょうせい</p> <p>区長 齋藤 和夫 750名</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>美化・清掃活動</p> <p>42年</p> <p>30日</p> <p>港ヶ丘行政区内</p>	<p>当該行政区では、地域の道路や児童公園等公共空間の清掃美化活動に長年取り組んでいる。</p> <p>市が主催するいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動に積極的に参加しているほか、毎月1日には、婦人会等を含めて地区内の除草等を行ったり、自行政区のみならず、地区外の市道・県道沿いまで活動範囲を広げて、紙くずや空き缶等の散乱ごみの回収を行っている。</p> <p>また、12月から1月の期間は、行政区内の例年行事として夜警を行っており地区内の防犯、火災予防はもとより、不法投棄防止にもつながっている。</p> <p>このような、長年にわたる地域環境の美化活動の取り組みは他の模範となるものであり、その功績は顕著である。</p>
福島県	<p>喜久田地区藤田川を守る会 きくたちくふじたがわをまもるかい</p> <p>会長 大波 久夫 会員38名（内役員…会長1名 副会長2名 会計1名）</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>河川区域内の除草及び清掃等</p> <p>21年</p> <p>毎月（1～2日）</p> <p>一級河川 藤田川（国道49号から下流700m）</p>	<p>平成2年に守る会を設立して以降、一級河川である藤田川の清掃美化活動に長年取り組んでいる。</p> <p>年4回の河川敷等の除草作業をはじめ、定期的に河川パトロールや花壇の植栽を行っている。</p> <p>また、毎年、藤田川の水生生物調査を行うほか、8月には、藤田川川まつりを開催するなど、地域住民に対し環境美化に関する啓発を行っている。</p> <p>こうした守る会の取組みにより、近年では地域住民が率先して河川の除草・ゴミ拾い等を行うようになり、環境美化意識が向上してきている。</p> <p>このような、長年にわたる地域環境の美化活動の取り組みは他の模範となるものであり、その功績は顕著である。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容	功 績
茨城県	蛭田 忠良 ひるた ただよし	対象活動 植樹、植栽、清掃活動 従事年数 26年 年間活動日 約300日 活動範囲 北茨城市中郷町付近	○氏が長年にわたり居住してきた汐見ヶ丘住宅団地は、山林を切り拓いて造成した1,100戸の住宅団地であり、氏は「住みやすくまちづくりがされているものの、人工的であり、自然環境などの潤いがない」と感じてこられた。 ○このような中、全国の各地域で市民が主体となった植樹や植林活動が展開されていることを知ったことをきっかけに、就労中である昭和59年から、汐見ヶ丘住宅団地内の公園（約3.4ヘクタール）とその付近の遊歩道周辺に、もみじやあじさい等の季節の植物を、私財を投じて植樹・植栽することを始められた。 ○その後も、むくげやつげなど様々な季節の植物を植栽・剪定するとともに、ごみ拾いなど環境美化にも努めてこられ、近隣工業団地に通勤する人々に四季を通じて多くの潤いとやすらぎを与えている。 ○このような氏の献身的な環境美化活動は、他の者への模範となるものであり、現在も多くの協力者を得て活動が継続されている。今後とも活動の広がりが期待できるものであり、これまでの氏の努力と功績は誠に大である。
栃木県	那須塩原市立東原小学校 なすしおぼらしりつひがしはらしょうがっこう 学校長 薄井 拓 児童数352人（平成23年4月1日現在）	対象活動 植樹、植栽等の緑化活動 従事年数 27年 年間活動日 フラワーロード活動日（5月～11月に5日程度） 活動範囲 学校周辺の道路	那須塩原市立東原小学校は、昭和59年に稲村小学校のマンモス校化により新設された小学校である。学校の設計に当たっては、地形・樹木等を極力自然状態のまま保存するという設計思想が取り入れられ、開校当時からさながら『林間学校』と言った趣を有する学校であった。 この緑豊かな環境を学校教育にも取り入れ、3つの緑化スローガン（『緑を育て』『緑に学ぶ』『豊かな心』）を掲げ、開校以来、継続して緑化活動に取り組んでいる。 また、平成18年度には全国学校関係緑化コンクール特選を受賞するなど、同校の緑化活動は高く評価されている。 さらに、地域緑化への取り組みとして、通学路である学校周辺の道路脇に花の苗を植える『フラワーロード活動』は地域ではすっかり定着しており、児童だけでなく地域住民の心を和ませている。こうした20年以上にわたる取り組みは、他の模範となり、地域環境美化功績者表彰推薦基準に合致する。
栃木県	野木町平成会 のぎまちへいせいかい 会長 鈴木 隆守 役員 会長以下11名 構成員30名	対象活動 ○月2回の町内の不法投棄監視と不法投棄物の回収及び指導 ○年2回の研修会開催 従事年数 22年 年間活動日 約26日 活動範囲 町内全域	・平成11年11月 秋季善行表彰受賞【社団法人日本善行会】 ・平成19年11月 秋季善行表彰受賞【社団法人日本善行会】 ・平成22年12月 「とちぎの環境美化県民運動」功労団体表彰【栃木県】 野木町平成会は、自然環境美化と会員相互の親睦を図り、明るく住みよい地域づくりに寄与することを目的として、平成元年に発足した。会員は現在30名で、月2回の町内の不法投棄監視と不法投棄物の回収・指導、及び年2回の研修を主な活動としている。活動経費は、会員の会費で賅われている。 野木町では、毎年5月の最終土曜日を不法投棄一斉監視の日として、町内の不法投棄場所のパトロールと不法投棄物の回収を実施しているが、平成会は毎年この事業に参加し、積極的にパトロールと回収を行っている。平成会は毎月不法投棄監視と回収を実施していることから町内の状況を十分把握しており、実施にあたっては事前に町と打合せを行い、重点地域等の確認を行う等、町への協力、連携も図っている。 そのほか、国土交通省をはじめ渡良瀬遊水地の周辺4市2町で毎年実施している渡良瀬遊水地クリーン作戦についても毎年参加し、積極的に清掃活動を行う事により地域の自然環境美化に貢献している。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
群馬県	<p>富岡市立妙義中学校 とみおかしりつみようぎちゅうがっこう</p> <p>校長 井上 優 生徒数109名、教職員数18名</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数 44年</p> <p>年間活動日 随時</p> <p>活動範囲 校内及び町内全区</p>	<p>学校教育の中で環境教育を実践し、環境に対する意識向上を図る</p>	<p>1 町内全戸を対象とした廃品回収作業の実施 生徒と保護者が中心となり校区内全戸を対象に廃品回収作業を実施している。この活動は昭和53年から継続して続けられており、回収した物品は市内業者に買い取ってもらうと共に市から補助金を受け、各部活動や生徒会に配分し、用具や備品の購入に充て、活動の充実を図っている。</p> <p>2 町内通学路の小中クリーン作戦の実施 昭和42年から平成17年度までの38年間実施していた全校生徒の参加による「国定公園妙義山」のクリーン作業に代わり、平成18年度からは町内通学路の清掃に取り組んでいる。実施の際には、生徒が市内の出身小学校へ出向き、小学生をリードしながら一緒に通学路等の清掃活動に取り組み、地域の環境美化に貢献している。</p> <p>3 生徒会を中心としたペットボトルのキャップ収集活動の実施 昨年度から開始したこの活動は、今年度で2年目となり、今年度集めたキャップは12,360個を数えた。キャップは藤岡市ボランティアセンターに寄付し、カンボジアに学校を設立する活動に使われている。</p> <p>4 総合的な学習の時間における環境保護学習の実施 主に1学年の学習として、榛名高原学校の実施、尾瀬学校への参加などを通じ、環境保護に対する様々な取り組みを学ぶ機会とすると共に、環境保全に貢献しようとする態度を養っている。</p> <p>上記のような活動を通じ、生徒が身近な環境美化活動に取り組むことにより、環境保護意識の向上を図っている。</p>
群馬県	<p>奥利根山岳会 おくとねさんがくかい</p> <p>会長 中島 仁三郎 会員数 20名</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数 56年</p> <p>年間活動日 年間登山数延べ70回、月平均5～6回程度</p> <p>活動範囲 朝日岳、笠ヶ岳及び武尊山を中心とした奥利根源流域の山岳地</p>	<p>登山活動及び登山道の清掃整備等</p>	<p>1 朝日岳における環境整備及び美化活動 群馬県自然環境保全地域である朝日岳において、湿原周辺のロープの張り替えを毎年春と秋に実施（総延長約20km）し、柵の補修、標識の設置（年間20～30か所程度）を行い、植生復元に供する活動を行うとともに、登山道周辺のごみ拾いを実施し、環境美化に努めている（点検・作業は、年間30回程度、参加延べ会員数は、年間300人程度）。</p> <p>2 笠ヶ岳、武尊山等における登山道の整備活動及び美化活動 昭和30年の設立当初から、群馬県内に位置する笠ヶ岳、武尊山を中心とした山岳地において、登山道の整備や案内標識の整備及び植生復元対策といった奉仕活動を実施。 標高が1,600～1,900m級の山が連なっているが、登山整備を年間40回程度行っている。 同会の活動は山岳地の景観美化に繋がり、登山者にとって安全で快適な環境を整備している。</p> <p>3 奥利根源流地域学術調査に対する貢献 群馬県が実施した奥利根地域学術調査（第1次調査－昭和52年、第2次調査－平成9年）において、会員は地形的条件が厳しい中、サポート隊員として現地で調査隊の安全を確保しながら現地を案内し、地形・地質等に関する貴重な調査報告書の作成に貢献した。</p> <p>上記の活動を通じ、長年に渡り奥利根山岳地域の環境整備に貢献している。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
埼玉県	<p>白岡ニュータウン自治会 しらおかにゆーたうんじちかい</p> <p>会長 田端 勇治 構成員数 1,332人</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数 年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>①植樹、植栽等の緑化活動 ②公園、道路等の清掃活動 ③緑化、浄化、清掃その他の美化思想の普及啓発</p> <p>22年</p> <p>通年（ごみゼロ・クリーン運動・2日、落ち葉清掃・2日、タバコのポイ捨て防止運動・1日）</p> <p>白岡町新白岡地内</p>	<p>①植樹、植栽等の緑化運動 白岡ニュータウン緑化規約を制定し、ニュータウン内の樹木、植栽を維持・保全するとともに、将来にわたる緑化の増進に努めている。生垣が義務付けられていることもあり、地域の住民の緑化に対する意識は高く、自治会においても道路の沿道の植栽など積極的に緑化に努め、緑豊かな潤いのある街並みの形成に貢献している。</p> <p>②公園、道路等の清掃活動 毎年5月に実施する町内一斉ごみゼロ・クリーン運動のほか、秋季にも自治会独自にごみゼロ・クリーン運動を実施しており、ごみのないきれいな街並みの維持に寄与している。 また、年に2回、道路や公園を含む落ち葉清掃を行い、住宅街における緑化の課題となっている落ち葉の問題に対して、地域ぐるみで取り組んでいる。</p> <p>③緑化、浄化、清掃その他の美化思想の普及啓発活動 年に1回、JR新白岡駅において、町及びJ Tの協力を得て、住民の帰宅時間に合わせて、ポケットティッシュと携帯灰皿を配布し、タバコのポイ捨て防止の啓発活動を行っている。 また、同日に新白岡駅の周辺のポイ捨てされたタバコの吸い殻等の清掃も合わせて行い、ごみのないきれいな街並みの形成を、住民に呼びかけている。</p>
埼玉県	<p>よみがえれ元荒川の会 よみがえれもとあらかわのかい</p> <p>会長 津浦 悦男 会長1、理事4、監事1 構成員30名</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数 年間活動日 活動範囲</p>	<p>実践活動（清掃活動、水質調査、生物調査など）／啓発活動（環境教育、啓発資料の作成など）</p> <p>13年</p> <p>年間4日以上</p> <p>元荒川・綾瀬川（蓮田市内）</p>	<p>1 清掃活動、水質調査、生物調査の実施 ①元荒川の清掃活動を実施。（年4回以上） ②元荒川の水質調査及び浄化方法に関する研究を実施。 ③元荒川の水生生物調査を実施。</p> <p>2 啓発活動の実施 ①小・中学校への講師派遣や、子どもを対象としたイベントへの参加をとおりて環境教育に貢献。 ②元荒川の水質調査や生活排水に関する啓発資料を作成し、各家庭や図書館に配布。 ③元荒川周辺の自然環境や名所等を紹介した「元荒川お宝マップ」を作成。</p> <p>3 水環境行政への協力 ①「埼玉県河川浄化団体連絡会」に参加し、平成19年に副会長に就任。「彩の国ふるさとの川再生基本プラン」の実現・啓発・推進・検証に大きな役割を果たす。 ②平成17年度には、地元の元荒川流域で「ふるさとの川再生地域会議」の幹事役を務め、会議を成功に導く。 ③平成18年度には、県事業「綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦」の中心的メンバーとして参加。参加した各河川浄化団体との連携を図るとともに、行政との協働に寄与。 ④平成22年度には、県事業「水辺の生き物ふれあい週間」に参加。 ⑤環境省が実施している「全国水生生物調査」に毎年参加。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容	功 績
埼玉県	唐沢川を愛する会 からさわがわをあいするかい 会長 栗田 照正 会長1、副会長5、会計1、幹事17、 監事2、顧問3、相談役1 構成員450 名	対象活動 実践活動（清掃活動、美化活動など）／啓発活動（環境教育、講演、広報など） 従事年数 19年 年間活動日 年間12日以上 活動範囲 唐沢川（深谷市内）	1 清掃活動、美化活動の実施 ①唐沢川の河川内の清掃活動を実施。（年5回） ②唐沢川の土手の除草活動を実施。（年5回） ③唐沢川の土手でチューリップやコスモスの植栽活動を実施。（年2回） ④深谷市が行っている「ゴミゼロ運動」に参加し、空き缶やゴミ拾い等の清掃活動を実施。（年2回） 2 啓発活動 ①地元小学校に講師を派遣し、環境教育に貢献。（年1回） ②地元の市民大学講座で活動内容等について講演。（年1回） ③他市の河川浄化団体を対象とした講義、現場視察を行い団体同士で交流。（年1回） ④会報を毎月発行。 ⑤ホームページに活動内容を随時掲載し、精力的に広報。 3 県の水環境行政への協力 ①県が進める「川の再生事業」「里川づくり県民推進事業」の構成員として、行政と地域・団体との協働事業に積極的に参加。
千葉県	アイラブふなばし実行委員会 あいらぶふなばしじっこういんかい 代表者 伊藤 将美 7商店街・6企業	対象活動 清掃活動 従事年数 31年 年間活動日 13日 活動範囲 市内	「アイラブふなばし実行委員会」は船橋駅周辺の複数商店会と大型店と企業が相互の連携を密にして駅周辺の商業環境整備、船橋商業の発展に寄与するために設立された団体である。 船橋市の玄関口とも言える、JR船橋駅、京成船橋駅を中心に、7つの周辺商店会・4つの大型店などが参加し、毎月第1木曜日に「アイラブふなばしクリーンデー」として清掃活動を行い、また、全市的なクリーン活動で、5月に行われる「クリーン船橋530の日」や11月に行われる「船橋をきれいにする日」にはアイラブふなばしの主要事業として積極的に参加し、環境美化に貢献した。 また、6月の環境月間に合わせて、船橋市と協力連携し「エコバックイベント」としてエコバックの無料抽選会を行い、環境に対する市民の意識を高めると共に、エコバック利用が促進され、ごみ減量推進（レジ袋削減）に貢献した。
神奈川県	酒匂7区自治会 さかなわなくじちかい 自治会長 二見 昌一 構成員数 250名	対象活動 海岸清掃活動、自治会地区清掃活動 従事年数 34年 年間活動日 海岸清掃年3回及び自治会地区清掃を不定期に実施 活動範囲 酒匂川河口から酒匂中学校下海岸、酒匂7区自治会地区	昭和52年から、環境美化運動の一環として海岸清掃を開始し、酒匂川河口の左岸と海岸清掃を年3回実施している。 活動当初は、20人程度の参加者でごみ拾い等を実施していたが、平成2年以降、周辺中学校や卒業生へ参加の呼びかけを行い、PTAや婦人会、老人会を巻き込んでのべ総勢800人ほどの参加者と大規模な海岸線の清掃活動に発展している。流木の撤去、車（約15台／年間）やその他医療系産業廃棄物などの不法投棄の撤去を行っている。また、悪質な不法投棄等については警察への通報を行い、不法投棄の撲滅を目指し活動を推進している。 その他定期的に、自治会内の清掃を実施するなど環境美化に努め、美化運動の看板を設置し啓発活動にも力を注いでいる。
神奈川県	長浜の自然を守る会 なはまのしぜんをまもるかい 代表 大屋敷 実 構成人数40名	対象活動 海岸清掃活動 従事年数 32年 年間活動日 12日（毎月1回） 活動範囲 和田長浜海岸	当会は昭和54年から30年以上にわたり、地元和田長浜海岸のビーチクリーン活動を継続して実施している。 その他にもほぼ毎年、他団体、公益財団法人かながわ海岸美化財団と共催してのイベントビーチクリーン活動も行なっている。 また、長浜海岸を利用する各団体に、環境美化と保全についての理解と協力を呼びかけるなど、啓発活動にも尽力しており、長年地域の美化に貢献してきた功績は大である。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
神奈川県	ボランティアサークル「ふれあい」 ぼらんでいあさーくる「ふれあい」 代表 鈴木 重範 構成人数 152名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動、緑化活動 17年7ヶ月 6～7日 三浦海岸、和田・長浜海岸、観音崎海岸、久里浜海岸、城ヶ島海岸、鎌倉市永福寺跡地、御谷	当サークルは毎年定期的に海岸美化清掃を行っており、三浦海岸、和田・長浜海岸、観音崎海岸、久里浜海岸、鶴沼海岸、城ヶ島海岸など、三浦半島を中心に幅広い地域で活動している。活動の規模も大きく、地元住民や中学校高等学校、米軍横須賀基地や自衛隊等に参加を呼びかけることで、昨年度は三浦市のクリーンアッププロジェクトの一環として400人近い参加者を集めた海岸清掃を主催するなど、地域の環境美化に努めている。 また、公益財団法人鎌倉風致保存会主催のみどりのボランティアとして鎌倉市内における清掃、草刈等に参加し、地域美化、環境保全のみならず緑化等にも尽力している。 定期的に美化、緑化、啓発に係る幅広い活動を継続しており、その功績は大である。
神奈川県	鎌倉の海を守る会 かまくらのうみをまもるかい 代表 河合 涼太 構成人数18名（幹事）	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動、啓発活動 14年8ヶ月 18日（その他、7～8月にはビーチパトロールを実施） 材木座、由比ガ浜海岸、坂ノ下海岸、稲村ガ崎、七里ガ浜、腰越	当会は年2回、春と秋に鎌倉市内の海岸のビーチクリーン活動を、市内の他団体及び鎌倉市等と共催して実施している。地元住民等に呼びかけることで、平成22年秋に実施したビーチクリーン活動の参加人数は741人に上っている。 春と秋のビーチクリーン活動以外にも、海水浴客の多い7～8月にはボランティアを募り、ビーチパトロールを実施して海岸のゴミを拾うなどの自主的な美化活動を実施している。 また、年2回海浜植物観察会や磯の観察会などを実施、年1回鎌倉駅地下道において活動内容に係る展示活動を行うなど、啓発活動にも尽力しており、地域の美化に係る功績は大である。
富山県	富山県立魚津工業高等学校 とやまけんりつうおづこうぎょうこうとうがっこう 校長 松井 裕敏 生徒数 422名、教職員 60名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	海岸・道路・河川敷等の清掃美化活動、及び美化意識の啓発活動 49年 約20日 海岸、校舎周辺、河川敷の一带	学校設立以来、長年にわたり、校舎周辺の通学路や経田駅の清掃美化活動を学校全体で取り組んでいる。 6、10月 校舎周辺の通学路、経田駅の清掃 平成9年に一部の生徒・職員で地球環境を考える委員会（平成20年からは環境教育推進委員会に名称変更）を設立しており、委員会としても清掃美化活動を行うとともに、地域の環境美化意識の高揚に努めている。 5、9月 片貝川河川敷の清掃 10月 片貝川河口の海岸の清掃 5、6、7、9、10、11月 市内の河川の水質調査及び清掃 3、7月 環境情報新聞の作成、地域への配布 7月 地域の中学・高校生と連携しての環境シンポジウムの開催
山梨県	道志村商工会女性部 どうしむらしょうこうかいじよせいぶ 女性部長 山口かおる 部長1名 副部長2名 部員20名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	環境美化活動・地域振興活動・奉仕活動・研修活動 約25年 年間を通じて 道志村内全域	長年にわたり、環境活動に積極的に取り組んでいる。観光地であることから、山梨県が推進する観光振興に環境保全を通じて努め、「おもてなし」をコンセプトに、村の玄関口である国道沿いの畑に、季節ごとに花を植え、県内外より訪れる人々をもてなしている。その功績が認められ、平成17年6月には山梨県環境保全功績者表彰を受けている。 平成18年度より道志村は「日本一の水源の郷をめざして」をキャッチコピーにむらづくりを進める中、道志村商工会女性部としても、さらに環境美化・観光振興を推進するため、村の観光スポットでもあり村民からも親しまれている「道志の湯」へと通じる道の国道分岐点付近に新たに花壇を整備した。雑草等に覆われ整備は困難を極めたが、部員の努力によりいまではきれいな花々に彩られている。また中学校も近くにあるため、子供の環境教育にも一役買っている。 また、その美しさを保つための管理も怠らず、村の環境活動のリーダー的な役割を果たし、積極的に環境活動に取り組み、県下商工会・女性部の環境活動の牽引役となっている。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
岐阜県	野口パークレンジャー のぐちばーくれんじゃー 会長 飯沼 幸正 会長1名、理事2名、会計1名、監査1 名、事務局1名、相談役1名、一般会 員25名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	空き缶、包装ごみなどの散在性ポイ捨てごみの 清掃及び、歩道花壇への花の苗植え活動などの 環境美化活動 7年 約20日（平成22年度は19日） 蘇原栄通り周辺（蘇原新栄・野口地区）	・「各務原市美しいまちづくり条例」に基づき環境美化監視委員を務めていた監視員・監視員OBらが 地域の住民に美化活動を呼びかけて設立。 ・各務原市が、美しいまちづくり条例に基づき実施している環境美化活動の日（毎年6月）には、毎年 参加し、空き缶、包装紙など散在性ごみの清掃活動を実施。 ・毎年度の初めに、活動計画（少なくとも月に1回は地域の美化活動を行う）を定め、地域での環境 美化活動を着実に実施。 ・活動地域から地元小学校（蘇原第一小学校）への通学途中にある歩道の花壇への花の苗植えを行う など地域の緑化・美化活動も積極的に行っている。
静岡県	野尻 啓子 のじり けいこ 浜松市花いっぱいコミュニティ緑化 連絡協議会会長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	浜松市花いっぱいコミュニティ緑化連絡協議会 の会長等として、長年にわたり地域の環境美化 に努めた 26年（S60.9～現在） 週1回以上 浜松市内一円	「浜松市花いっぱいコミュニティ緑化連絡協議会」は、花と緑にあふれた夢のある暮らしの創造を 目的として昭和60年に設立された。協議会は、市内の34のボランティア団体が構成され、現在は約 4,300人まで会員が増えており、公民館をはじめ、公園などの公共施設で250箇所にも及ぶ花壇を管理 している。設立以来、地域を花で飾り、地域に花の和を広げる活動を積極的に進めてきた。 この会において、氏は、設立当初から会の活動に参加し、20年以上の長きにわたり会長として活動 を推進してきた。 花壇管理のほか、小学校で児童と保護者を対象にした園芸教室を開催し、青少年の健全育成を行っ ている。また、花と緑の環境アドバイザー養成講座の開講や、「花の日」のイベントを通して、ボラ ンティアの育成を行うなど、新しい事業を積極的に展開し、花と緑のまちづくりに貢献している。 さらに、合併後の浜松市においても、旧市町単位で活動を続けている市内13団体の花の会の情報交 換や連絡調整の場として、連絡協議会を結成し、「第1回浜松市公共花壇フォーラム」や市長を交えて の全体交流会、年4～5回の理事会を開催するなど、連絡協議会の会長として、市民協働による快 適で潤いのある、花を活かしたまちづくりを推進している。 これら地域の環境美化、人材育成など幅広い分野に渡り、継続的且つ献身的に行われてきた活動の 功績は、誠に顕著である。
静岡県	渡邊 房江 わたなべ ふさえ 富士市花の会会長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	富士市花の会役員を歴任し、市内の花と緑のま ちづくりの先駆者として地域の環境美化に努め た 26年（S60.4～現在） 週1回以上 富士市内一円	「富士市花の会」は、昭和42年の設立以来、富士市を花と緑による潤いのあるまちにするべく、ま ちづくりセンターや公園等の公共施設の80箇所に及ぶ花壇の管理や、イベント時の飾花等の活動を 行っている。 この会においては、氏は、支部の位置付けとなる丘地区花の会を昭和60年に設立、以来20年以上の 長きにわたり、花いっぱいのまちづくりに熱意を持ち、富士市花の会の副会長、会長代理、会長と要 職を歴任している。 この間、花壇管理にとどまらず、授産施設との花の植え替え等の共働作業を進め、園芸を接点とし た福祉施設との交流の和づくりに尽力している。 また、幼稚園、保育園での園児との共働による種まき、植栽等も進めており、こうした幼児期の体 験は、花を育て愛する心が培われることを助長して、小学生になった園児達が地域花壇の管理に積極 的に参加する原動力になっている。 このように、地域の緑化活動のリーダーとして、福祉施設、教育機関と連携した活動の取り組みを 通じて花と緑にあふれた潤いのあるまちづくりを推進してきた功績は、誠に顕著である。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
愛知県	鳥川ホタル保存会 としかわほたるぼぞんかい 会長 今泉 清 構成員数 60名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	ホタル保護活動、鳥川の河川浄化運動、清掃活動、登山道の整備、湧水群の整備 16年 37日 鳥川	激減したホタルを取り戻すために、平成6年5月に「鳥川ホタル保存会」を設立し、地域を挙げてホタルの保護を中心とした、下記のような幅広い環境保全活動に取り組み続けている。 ①ホタル保護活動 ホタル保存会の原点となる活動であり、発足当初から地区内の全戸が会員となって活動している。活動内容としては、ホタルの幼虫・カワニナの育成、ホタルの飛翔数調査、ホタルの保護看板設置等による啓発、幼虫の放流などである。 ②河川の清掃活動 ホタルの育成にとって非常に重要なものは水であり、地区内を流れる鳥川の清流を維持するため、平成7年から河川のゴミ拾いや草刈り等を定期的に行っている。 ③湧水群の整備 現在5か所の湧水を整備しており、常時点検清掃するなど、維持管理に努めている。 平成20年には「鳥川ホタルの里湧水群」が、環境省から「平成の名水百選」に認定された。 ④登山道の整備 ホタルの育成に重要な水の源である、山の保全にも広く関心を持ってもらうため、登山道の整備を平成14年から進めており、現在延長17kmほどになっている。 活動内容としては、登山標識の設置、「ホタルの鐘」の設置（計23か所）、登山道の維持管理、山歩きイベントの実施などである。 以上のような活動の結果、例年多くのホタルが飛翔するようになり、ホタルシーズンには、ホタルまつりを開催したり、見物者の交通誘導を行うなどの活動も行っている。
愛知県	特定非営利活動法人 トンボと水辺環境研究所 とくていひえいりかつどうほうじん とんぼとみずべかんきょうけんきゅうじょ 理事長 川口 邦彦 理事長1名、副理事長1名、理事4名、監事1名、会員総数約35名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	川づくり、自然観察、環境学習、ビオトープづくり、調査・研究 13年 約300日 尾張地方、名古屋市、各務原市、関市、本巣郡、岐阜市等	尾張地方の学校のプールのヤゴ救出やビオトープづくりに取り組むため、平成10年4月に、同じ志を組む仲間数人と「トンボと水辺環境研究所」の前身となるサークル団体「江南トンボ仲間」を結成し、小学校などに池を造る作業やプールのヤゴの救出を始めた。 平成14年1月には「江南トンボ仲間」を発展させ、学校ビオトープの設計や施工の他、学校や市民講座での環境の講習会、自然塾の開催などを行うため、任意団体「トンボと水辺環境研究所」を設立し活動を進めてきた。 平成15年9月には、同団体を「特定非営利活動法人トンボと水辺環境研究所」と法人化し、愛知県尾張地区を中心に小学校の学校ビオトープ造りや講演会等で、自然生態系の理解に繋がる事業を実施し、広く一般市民に自然や命の大切さを伝えてきた。 平成16年からは、江南市内の小学校を対象とした、環境学習会の企画運営も始め、また、平成18年からは、江南市・大口町内の五条川の一部で、生き物が集まる川への再生活動を開始し、水生植物の植栽や生き物調査などの定期調査を実施するなど活動の場を広げてきた。 また、トンボキッズ会員を募集し、子ども達が参加できる活動を積極的に行い、子ども達が自然とふれあう機会を作るとともに、保護者の環境に対する意識の啓発活動も行っている。
愛知県	坂下区 さかしたく 坂下区長 後藤 典太 924世帯	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	河川浄化活動、清掃、河川パトロール 16年 19日 一級河川 内津川（坂下橋から大谷川合流地点）	活動範囲は、内津川の坂下橋から大谷川合流地点までの約1.2km。 毎月実施される河川パトロールでは、簡易検査のpH、COD、透視度を測定することで水質異常を監視するとともに、草刈や空き缶等のごみ回収などを行っている。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
京都府	<p>谷区健やかふれあいの会 たにくすこやかふれあいのかい</p> <p>会長 能勢 博 云次1名、福祉委員3名、推進委員0名 構成員数20名</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>地域の空き缶・ごみ拾い、公園の草刈り・清掃活動等</p> <p>10年6ヶ月</p> <p>10回程度</p> <p>地域（京丹後市丹後町）の漁港近辺、国道、公園、海岸等</p>	<p>○空き缶・ごみ拾い 自分たちの住んでいる身近な環境を考える活動の一つとして、年5～6回間人漁港の近辺と国道178号バイパスを交互に実施。</p> <p>○定住団地内の公園の草刈り及び清掃作業 公園を子どもたちが安心して遊ぶことができる環境づくりのため、周辺住民と会役員により、年2回（5月、8月）公園周辺の草刈り及び清掃作業を実施。</p> <p>【平成21年度からの取組】</p> <p>○後ヶ浜海岸の防潮護岸の管理点検作業 後ヶ浜海岸防潮護岸の施設の維持管理点検について、京都府と協定（アドプト制度）を結び、月1回程度巡視、点検作業を行い、京都府へ点検報告。</p> <p>○海岸漂着ごみの回収作業 白砂青松の美しい海岸の景観と環境を保全することを目的とし、後ヶ浜海岸漂着ごみ回収作業（海岸清掃）を実施。</p> <p>以上のように、大変地道な活動を長年にわたって継続されており、また、地域の老人会、婦人会、子供会、体育部から構成された団体であることから、老若男女問わず幅広い地域住民の参加を得ていることも特徴的である。近年は、アドプト制度により府と協定を結ぶなど、地域内のボランティア活動を先導する存在となっている。</p>
大阪府	<p>小林 章生 こばやし しょうせい</p> <p>泉大津市衛生委員会副委員長</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>市内の主な幹線道路等の清掃活動や不法投棄パトロール等の啓発活動に従事</p> <p>26年</p> <p>随時</p> <p>市内全域</p>	<p>○昭和60年に泉大津市衛生委員に参画。常任委員、会計監査を経て平成21年から副委員長。約26年間、泉大津市の環境衛生活動に従事。</p> <p>○副委員長に就任後、委員長を補佐するとともに、率先して約180人の衛生委員会の連絡調整を行うなど、衛生委員会活動に大きく貢献。</p> <p>○また、地域の環境美化活動や不法投棄防止啓発看板などの作成にも積極的に参加するなど、より良いまちづくりに貢献すべく衛生委員会活動を支援してきた。</p>
兵庫県	<p>萬代 新一郎 まんだい しんいちろう</p> <p>社団法人 兵庫県保健衛生組織連合会赤相支部 理事</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>地域での環境美化活動のリーダーとして長年尽力している。</p> <p>27年間（\$59.4～現在）</p> <p>定期的に実施される一斉清掃の他、随時自主的に清掃活動に取り組んでいる。</p> <p>主に赤穂市尾崎地区</p>	<p>昭和59年4月に赤穂市尾崎地区の木ノ下町自治会長に就任以来、地元の公園をはじめとする地域の清掃活動や、ゴミステーションの環境改善、資源ゴミの回収などの自治会活動において、地元のリーダーとして卓越した指導力を発揮している。</p> <p>その後、平成2年4月には、赤穂市自治会連合会の理事に就任し、平成4年4月には17もの自治会が存在する尾崎地区の自治会連合会長に就任。その指導力が認められ、赤穂市自治会連合会副会長にも就任した。</p> <p>以降、約18年にわたり、尾崎地区のみならず赤穂市全体のリーダーとして、毎年6～7月に各自治会で実施されている「環境美化活動」をはじめ、上記活動の中心となって事業の推進に取り組んでいる。</p> <p>とりわけ、尾崎地区の生活環境改善に対する清掃活動等への取り組みは、会長の呼びかけのもと、参加者も多く、他地区の模範となっている。</p> <p>この他、赤穂市環境審議会会長、赤穂市都市計画審議会委員、赤穂市文化協会会長でもあり、赤穂市の生活・環境の向上に、様々な方面から取り組みを進めている。</p> <p>また、当会においては、平成4年度から赤相支部の理事に就任し、赤穂市の他、相生市・上郡町との連携を図りつつ、後進の指導・育成にも尽力している。</p> <p>以上のように、萬代氏の指導力とその人望は、地区のリーダーとして相応しく、市及び赤相地区の生活環境改善に大きく貢献しており、受賞するに足りるものである。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
兵庫県	竹本 隆 たけもと たかし	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地域の環境美化活動のリーダーとして、環境美化活動に尽力している。 21年間 (H2.4～H23.3) 定期的を実施される一斉清掃の他、随時自主的に清掃活動に取り組んでいる。 主に赤穂市坂越地区	平成2年4月に赤穂市坂越地区の潮見町自治会長に就任以来、地元の公園や海岸などの地区清掃活動に積極的に取り組まれる傍ら、その後始まった資源ごみ集団回収などにも積極的に取り組むなど、これらの自治会活動などにおいて地元のリーダーとして卓越した指導力を発揮、平成13年から坂越地区自治会連合会の会長に就任し、坂越地区18自治会を指導し地区内の道路や側溝、宝珠山周辺などに加え瀬戸内海国立公園の一部を成す坂越地区の海岸線の清掃を年間を通じて定期的実施している。 一方で平成9年度からは赤穂市自治会連合会理事、平成19年度からは赤穂市自治会連合会副会長に就任されてからは赤穂市自治会連合会全体として西播磨クリーン月間をはじめ、地域の清掃活動に積極的に取り組んでいるが、とりわけ坂越地区については竹本氏の積極的な呼びかけのもと参加者も多く、他地区の模範となっている。 この他に、赤穂市社会福祉協議会理事、赤穂市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員を務められ、環境美化活動以外の分野でも活躍された。 また、平成13年度からは兵庫県保健衛生組織連合会赤相支部の理事に就任し、赤相支部を構成する他市町と連携しながら後進の指導・育成にも尽力された。 以上のように、竹本氏の指導力とその人望は、地区のリーダーとして相応しく地域住民から全幅の信頼を得ており、赤穂市及び赤穂地区の生活環境改善に大きく貢献しており、受賞するに足りるものである。
兵庫県	明石市林校区連合高年クラブ あかししはやしこうれんごうこうねんくらぶ 会長 関 孝三郎 773人	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	保健衛生・環境美化・緑化推進活動 39年6カ月 約300日(ほぼ毎日) 林小学校区	・林校区の小中学生の登下校時に、スクールガードとして子どもたちの見守り・声掛け活動と同時に学校周辺と通学路の清掃活動を日々行い、地域の環境美化の向上に貢献している。そして、子ども会とタイアップを図り、子どもたち・父兄と3世代で運動会等の幼・小学校行事の事前清掃に献身的に取り組むことで、自然と地域の宝である子どもたちと交流を深め、地域の環境美化意識啓発に寄与している。 ・9月の「老人週間」では高齢者の元気な姿を示す週間にしようと、9月20日を「社会奉仕の日」として、小学校内・小学校周辺を含め、地域の清掃活動に取り組んでいる。 ・近年は、環境美化活動の一環として、地域の公園の花壇整備に熱心に取り組み、会員相互の交流と健康促進に努めている。また、花の水やり・草抜き・手入れ等に力を注いだ成果として平成21年から平成23年連続、花壇コンクールで受賞するなど、花と緑に包まれた美しく住みよい地域づくりに貢献している。 ・お盆の精霊流しの際は、自治会と協力して、事前準備、事後後片付け、収集場所でお供え物等のごみの分別収集を率先して実行している。
奈良県	平野 楯行 ひらの たてゆき	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園、道路等の清掃活動 22年(平成元年4月～) ほぼ毎日(平成元年4月～) 平成元年～現在、橿原市白檀町7丁目の道路緑地帯や白檀南児童公園の空き缶やゴミ拾いの清掃活動	橿原市白檀町7丁目の道路緑地帯や白檀南児童公園の空き缶やゴミを拾うといった清掃活動を、平成元年から現在に至るまで22年間の長期にわたり継続されている。また、児童公園内の砂場を子ども達が遊べるように定期的に掘りおこしもされている。 平成14年12月に日々の活動の功績が認められ、奈良県知事表彰(クリーングリーン実践者表彰)を受賞された。 加えて、平成21年からは地元自治会より地元中学校区の花のボランティアの要請を受け、校区内の小学校の環境支援を年末の2週間を除き毎週1回行っておられ、花壇植栽、植木の剪定、花壇の清掃など、小学校の環境美化にも取り組まれているところである。 上記の状況から、平野氏の活動は地域環境の美化に関し特に顕著な功績があると判断するものである。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
奈良県	昭寿会 しょうじゅかい 会長 植田 豊一 役員：会長、副会長、会計、監査 (2名)、班長(3名) 会員数：60名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園、道路等の清掃活動 27年(昭和59年～) 毎日 昭和59年～現在 近鉄平端駅前広場及び道路(広場～踏み切り) のゴミ拾い、駅前広場の花壇散水・管理活動等 の清掃活動	近鉄平端駅前広場及び広場から踏み切りまでの道路において、空き缶や煙草のポイ捨て等のゴミ拾いに力を入れ、昭和59年から現在に至るまで27年間の長期にわたり、毎日欠かさず実施し、駅の利用者やバスの乗降者に憩いの場所を提供している。 また、広場の花壇の散水・清掃等管理活動を行うとともに、地蔵尊の清掃・生花のお供えを行い、地域コミュニティの心豊かなまちづくりに貢献している。 上記の状況から、昭寿会の活動は地域環境の美化に関し特に顕著な功績があると判断するものである。
和歌山県	特定非営利活動法人 和歌の浦万葉薪能の会 とくていひえいりかつどうほうじん わかのうらまんようたきぎのうのかい 代表者 松本敬子 役員16名、社員11名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	市民に対し「薪能」の上演を中心に、芸術・文化の振興を図ると共に、社会教育の推進や環境保全、健全なまちづくりや地域おこし等公益に寄与する事を目的に活動する 13年間 約50日程度 和歌山市和歌浦地区	「和歌の浦」「万葉」「能・狂言」をキーワードにし、名勝和歌の浦を中心に伝統文化の普及・啓発、文化財を活かしたまちづくり及び和歌浦の景観保全の活動を13年間、継続して実施している。「能・狂言」の上演は、一年に二度、和歌浦湾の大海原に沈む彼岸の日に沈むが、秋の彼岸に万葉の故地である和歌の浦 片男波で実施している。今年で13回の開催である。1000人近い市民が参加し、伝統文化の啓発・普及を行っている。併せて、能のワークショップ、和歌祭りへの能面奉納、展示会、和歌の浦ウォーキングを通じて文化・芸能の振興を図る。 景観保全については、平成14年から新和歌浦の「高津子山を桜の山に」を合い言葉に月一度、清掃、整備活動を行っている。高津子山は、昭和33年には、ロープウエーと山頂には回転展望台が備え付けられ、新吉野と呼ばれるほどに桜の名所であったが、その後荒れていたところを整備し、4月には一面に桜が咲くようになっている。また片男波海岸への清掃も継続して行っている。 伝統文化の普及だけでなく、清掃活動を通じての「地元の活性化」「ふるさと再生」を実践する地域環境美化団体との側面も強く、今後も継続して地域環境美化に貢献する団体である。 平成16年には和歌山県より、「紀の国ふるさとづくり 優秀賞」が贈られ、受賞している。
岡山県	備北信用金庫ボランティアクラブ びほくしんようきんこぼらんていあくらぶ 会長 福本 智之 構成員 約40名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園、道路等の清掃活動 31年 毎週月・金曜日 高梁市役所からJR備中高梁駅までの市道と正宗公園	昭和55年の「有志の会」結成から今日にいたるまで、高梁市役所からJR備中高梁駅までの市道と正宗公園の清掃活動を週2回(月曜日と金曜日)継続して実施している。また、年2回、国の重要文化財に指定されている備中松山城への登山道路や国道484号線のループ橋周辺の清掃活動にも取り組むなど、地域の環境美化の推進に大いに貢献している。本年度より信用金庫前の市道にプランターを設置する取り組みも始めている。
山口県	J A 長門大津 深川女性部 じえいえいながとおおつふかわじよせいぶ 代表者 松永 久美江 長門大津農業協同組合深川地区女性組合員 198名	対象活動 従事年数 年間活動日	散乱ごみ回収、EMぼかし菌利用の生ごみ堆肥化、廃油石鹸作り 16年7ヶ月 年38回 県道下関長門線・近松道路公園付近	平成8年から、「身近なところ・できることから始めよう」を合言葉に、県道下関長門線・近松道路公園周辺の散乱ごみの回収活動を開始され現在に至っている。また、市及び市快適環境づくり推進協議会が主催する散乱ごみ回収イベント「クリーンウオーク inながと」にも長年にわたり積極的に参加するなど、部員によるボランティア活動を通じた地域への貢献、また、身近な景観を保全する観点から環境美化活動に大きく貢献している。 また、平成8年から平成11年の間においては、グリーンマークの収集による河川堤防や老人福祉施設に桜を植樹する活動がなされてきた。更に、農業に従事する者の立場からも環境問題に取り組みされており、平成8年からのEMぼかし菌を利用した台所ごみの堆肥化や食用廃油を活用した石鹸作り、肥料作りなど資源の再利用活動による資源循環型社会の形成にも大きく貢献されている。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
愛媛県	高川長寿会 たかがわちょうじゅかい 会長 加藤 美直 95名（うち会長1名、副会長2名、会 計1名、監事2名、支部長・婦人部長 各2名）	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公共施設周辺の環境整備（草刈、ゴミ拾い、花 壇の手入れ） 51年（昭和35年～平成23年） 約40日（公共施設等清掃 12回／年、苗の植え 替え 2回／年、花壇の管理 随時） 高川地区内の公共施設、県道	月1回、地区内5か所の公園や広場などの公共施設の清掃活動を実施している。 （参加者 毎回会員の約半数前後が参加） 清掃活動以外にも年2回、県道沿い等にある花壇の花の苗を植え替えるとともに、花壇の近所に住 む者によって随時水遣りや雑草の除去等の管理を行い、地区の環境美化に努めている。 また、毎年12月には、3世代交流事業として高川小学校児童と餅つきを行うなど、世代間の交流を 積極的に行っている。
愛媛県	愛媛県立伊予農業高等学校生物工学 科培養班 えひめけんりついのうぎょうこうとうがっこう せいぶつこうがくかばいようはん 松野 諄（生物工学科3年生） 生徒16名（内代表1名）、指導者2名 （教諭） 合計18名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	緑化活動（野ギク：ソナレギク・イヨアブラギ ク） 15年2月（平成8年4月1日～平成23年6月7日） 24日 内訳①キク苗の配布活動 3日②野ギク 自生地の環境美化活動等 17日③JR下灘駅周辺 環境美化活動 4日 伊予市・松山市	○活動内容 平成9年4月から現在まで、絶滅が心配されている野ギク（愛媛県レッドデータブック記載・ソナ レギク、松山市レッドデータブック記載・イヨアブラギク）を、校内農場でバイオテクノロジー技術 を駆使した培養や挿し芽等による増殖している。 平成12年からは、イベント（PTA総会、伊予市花まつり、なぎさ祭り等）を中心に、栽培したキクの 苗を地域住民、商店街、市役所等のほか、伊予市はじめ近隣2市2町の中学校（16校）にも配布（合計 年間600株）するとともに、電話、メール、訪問等により、配布したキクの栽培指導・援助、開花に関 する追跡調査を行い美化思想の普及啓発活動を実施。 更に、松山市伊台地区、愛媛県愛南町、広島県大崎上島町など野ギクの原産地・自生地を調査する とともに、生育地の清掃、草刈・樹木伐採、施肥活動を実施。松山市伊台地区においては、特別養護 老人ホームの慰問も行っている。 このほか、平成19年度には松山市役所と協力し、松山市内の緑化推進グループ（98グループ）にキ ク苗を配布。特に松山市伊台地区では地元中学校で育てた栽培株から更に苗を作って地域住民に配布 したり、小学校に対してキクの増殖法や絶滅危惧種の保護活動の必要性について紹介する出前授業を 開催。 また、新たな取り組みとして、平成21年度からはJR四国、伊予市下灘地区老人会、下灘小中学と協 働し、JR下灘駅周辺に自生している野ギクを増殖させ、駅構内に移植する緑化・美化活動に取り組ん でいる。 ○年間活動従事日数 24日 ○活動地域の範囲 伊予市・松山市 ○活動1回当たりの人数及び参加率 約13人 84.37%
福岡県	牛頭ダムあじさいの会 うしくびだむあじさいのかい 代表 高 椋 政夫 82名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	緑化活動、清掃活動、普及啓発活動 7年 24回 大野城市牛頭ダム周辺	牛頭ダムあじさいの会は、あじさいの植樹等の緑化推進活動や清掃活動により、牛頭ダム周回道路の 不法投棄、ゴミの散乱の防止を目的とした市民が集まって発足した市民団体である。 牛頭ダムあじさいの会では、平成16年にあじさいを約60株植樹し、翌年より年300株の植樹を行って いる。平成21年には1,600株となり、牛頭ダム周回道路一周の植樹を達成している。成長したあじさいは たくさんの花をつけ、訪れた人たちの目を楽しませてくれる存在として認知されるようになった。 主な活動内容としては、草刈り、苗の植え付け、花木の剪定、それに加え牛頭ダム周回道路の清掃・ ゴミ拾い等の活動も積極的に行っている。当初は月に一回の活動だったが、増えたあじさいの維持管 理のため、平成19年8月より月2回に回数を変更し、暑さ寒さが厳しい中でも地道に活動を行って おり、本市の環境美化に大きく貢献している。
長崎県	森 勝芳 もり かつよし	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	ゴミの回収、公園の草刈・清掃等を率先して行 われ、町内の環境美化に貢献されている 21年（平成2年～現在） 124日（月2回×12月＝24回、随時100回：週2 回） 水主町1・2丁目	平成2年から21年間、分別収集の周知徹底に努められ、ごみの減量並びにリサイクルの推進に貢献 されています。 町内全域のごみの回収、町内公園の草刈・樹木の剪定、独居老人のごみの収集等を率先して行われ ています。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
長崎県	市川 徳夫 いちかわ とくお	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	草刈・清掃等を率先して行われ、町の環境美化に貢献されている 11年（平成12年～現在） 124日（月2回×12月＝24回、随時100回：週2回） 柴田町内全域・大上戸川堤防の草刈り・ごみの回収	町内の環境美化活動のリーダーとして、ごみ拾い、市道植栽帯の除草作業をはじめ、町内の全世帯に呼びかけて大上戸川堤防の草刈、不法投棄の回収等を率先して実施されており、町内の環境美化に多大な貢献をされています。 また、町内で希望者を募り、生ごみリサイクル、グリーンカーテン事業に取り組み、リサイクル、地球温暖化防止活動にも努められています。
大分県	小平 忠三 こひら ちゅうぞう	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地域轟地蔵の清掃を独自に週1回、永年続けている 22年 毎週、日曜日、都合が悪ければ土曜日に実施 轟地蔵尊周辺と駐車場やトイレで落ち葉の片付けや掃除を実施	昭和63年12月に、杵築市轟地蔵保存会の役員就任をきっかけとして、地元でもあり、また多くの参拝者があるため、参拝者に快適に利用して欲しいという気持ちから轟地蔵の清掃に取り組むこととなった。 清掃を開始した当初は、轟地蔵のトイレ及び側溝の清掃を毎週1回、1時間程度行った。その後、トイレ掃除等に加え、ごみや落ち葉の片付けを、毎週こつこつと続け、今年で清掃を開始して22年を経過した。清掃回数も1,130回を超えて、現在では駐車場・地蔵尊の周り・通路・トイレと清掃範囲も広がり、毎回1時間以上をかけた清掃を行っている。秋の落ち葉の多い時季には2時間以上をかけて清掃を行うこともある。 また、轟地蔵尊の環境が美しく保たれていることにより、杵築市が参道を整備するほか、石像も210体ほど寄進されるなど、地域住民のボランティア精神の醸成にもつながっており、地域の環境美化にも多大な貢献をされておりその功績は顕著である。
札幌市	簾舞地区町内会連合会 みずまいちくちょうないかいれんごうかい 会長 間山 瑞之 構成員 5,387名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	植樹、植栽等の緑化活動 30年 60日以上 札幌市南区簾舞地区	簾舞地区町内会連合会は、簾舞地区の9町内会によって構成されており、地域づくり目標の一つとして「地域美化に取り組む美しいまち」を掲げて、国蝶オオムラサキの生息地である八剣山等の山々に囲まれた豊かな自然資産のほか、札幌市有形文化財である旧黒岩家住宅といった文化遺産と一体となった地域の環境美化に向けて様々な活動に取り組んでいます。また、連合会のみならず、町内会、地域の福祉・青少年育成等の協議会、老人クラブ、小中学校、幼稚園等とも連携した簾舞まちづくり協議会を構成して「花いっぱい運動」として住民の交流や地域の連帯感を高めながら取組を進めています。 これまで、「歩道植樹樹花壇」づくりを札幌市の取組み当初である昭和52年から実施したほか、地域のシンボリックなガーデンとして「花いっぱい広場」「花畑inとよたき」を開園してきたほか、家庭内での取組が地域の環境美化にもつながるといった観点から、札幌市と「緑の協定」締結し、家庭内の植栽や園芸講習会や研修会の開催や園芸フォーラムへ参加を積極的に行っています。 また、平成19年からはハーブを主体としたガーデニングを「辻に咲く 花と香りのガーデニング」と題して取組み、特色ある地域景観づくりを目指しています。この取組では、「花いっぱい広場」や「花畑inとよたき」など10か所でハーブの植栽を行い、簾舞地域の新たな魅力づくりに取り組んでいるほか、知的障害者更生施設のガーデニングづくりにも協力するなど、環境美化の取組をおして地域の様々な方々との連携を進めています。 【平成23年度活動概要】 ・ 「辻に咲く 花と香りのガーデニング」によるハーブを活用した未利用地でのガーデニング ・ 札幌市有形文化財での植栽 ・ 知的障害者更生施設におけるハーブ園の手入れの協力 ・ 各町内会ごとの花壇の造成・植栽 ・ 札幌市と「緑の協定」による地域内植樹 ・ 地域主要道路の植樹樹への花植え ・ ガーデニング講習会・研修会などの開催

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
川崎市	長島 亨 ながしま とおる 川崎市美化運動実施川崎支部大師地区地区長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃 平成10年4月から13年 年間 約14回 台町町内会全域及び大師地区全域	平成23年度より川崎市美化運動実施川崎支部大師地区の地区長に就任し、多摩川美化活動・市内統一美化活動等、地域の美化運動の企画と実践に積極的に携わっている。また、川崎市全町内会連合会常任理事、川崎市連合町内会副会長、大師地区町内会連合会会長を務めるなど、多忙な職にありながら、地域の廃棄物対策などの衛生問題にも率先して取り組んでおり、「きれいな住みよい街」の構築のために、行政機関や各種団体と連携しながら、常に地域の環境の向上に努めている。その献身的な姿勢と卓越した指導力は、地域住民から高い評価と信頼を受けている。
川崎市	瀧村 治雄 たきむら はるお 川崎市美化運動実施高津支部支部長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	多摩川美化活動、市内統一美化活動、久地第1町内会区域清掃、区内全域の美化活動の企画・運営等 8年 約20日 高津区全域	平成15年より川崎市美化運動実施高津支部長に就任、多摩川美化活動、高津区民祭ごみ分別呼びかけ活動、市内統一美化活動、美化推進委員視察研修会等、区内全域の美化活動・啓発活動に現在に至るまでリーダーシップを発揮、尽力されている。 高津区民祭については自ら実行委員として環境負担の少ない運営を行っている。 また、平成6年から現在まで久地第1町内会（1,140世帯）の会長を務め、川崎市全町内会常任理事、高津区全町内会連合会副会長などの要職を長年にわたり歴任されている。町会長として、リーダーシップを発揮し、平成10年には同町会は市内統一美化運動のモデル地区として積極的な取り組みを行っている。 また、美化推進運動や町内会活動のほか、多方面から高津区のまちづくりに献身的に尽力され、高津区防犯パトロール隊（約4,000名の隊員）隊長、民生委員推薦区会委員など、過去には高津区まちづくり協議会委員長、高津区区民会議委員などの要職を勤めており、様々な活動を通じて美化推進運動と各団体との協力関係を築いてきたところである。 従事年数は8年ではあるが、就任以前からの貢献度などから平成15年の川崎市美化運動実施高津支部への就任と同時に支部長に抜擢された。 このようなことから総合的に勘案するとその功績は極めて多大であり、また氏が地域環境美化功績者表彰を授章することにより美化推進運動はもとより、関係諸団体の美化運動への関心や協力体制への影響力は大きい。
川崎市	竹内 利雄 たけうち としお 川崎市美化運動実施宮前支部副支部長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地域環境の美化啓発・清掃活動 12年 30日 宮前区内の公園・沿道道路・ポイ捨て禁止重点区域・多摩川等	活動内容 清掃活動、植栽・草花の配布、環境美化啓発活動 活動従事年数 平成12年～ 現在 計12年 年間活動日数 30日 活動地域 宮前区内の公園・沿線道路・ポイ捨て禁止重点区域・多摩川等
川崎市	井田みすぎ子ども会 いだみすぎこどもかい 会長 難波 敏男 役員15名、構成員203名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	道路・公園清掃、打ち水、市内・区内統一美化活動への参加等 昭和35年から51年間 年15回 活動拠点である井田杉山町・井田三舞町を中心に区内全域	子ども会の活動として、近隣住民と協力し、定期的に中原区井田杉山町にある井田杉山町公園を重点的に清掃活動を行っている。また、公園周辺では地域の方と協力し、ヒートアイランド対策として「打ち水」を行い、環境に配慮した活動も行っている。その他、周辺の公園及び会館・道路の清掃並び違反広告物の撤去作業等を長年に渡り実施し、美しいまちづくりを目指し美化活動を実施している。 また、市内統一に行われる「多摩川美化活動」及び「市内統一美化活動」、川崎市美化運動実施中原支部で実施している「クリーニンググリーンなかはらキャンペーン」にも積極的に参加し、区内全域の環境美化にも大きく貢献している。 これら美化活動等を通じて地域の人々の交流を図り、まちづくりに多大なる貢献をしている。さらに、小さい子どもの頃から自分たちの住む町は自分たちの手で綺麗にしていく、という習慣を形成している。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容	功 績
相模原市	橋本寿睦会 はしもとじゅぼくかい 会長代行 情野 勝 役員7名、構成員59名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 公園、道路等の清掃活動 37年3ヶ月（昭和49年8月～平成23年10月末現在） 月1回 ・神社境内の除草及び清掃（緑区橋本6丁目） ・道路並びに公園の除草及び清掃（緑区西橋本2丁目全域）	当、橋本寿睦会は、昭和49年に地域の老人会として結成されたが、その活動の目的は会員相互の親睦を図ること以外にも、会員の文化教養の向上や健康増進を図るための活動、友愛活動、その他社会奉仕活動などの地域福祉の向上を図ることも目的として、地域の美化活動等、各種ボランティア事業を長年にわたり開催している。 特に、神明大神宮・大鷲神社境内や地域内の道路、公園の除草や草刈り及び散乱ごみの清掃、空きビン、空き缶などの資源回収等の活動や、公園に植栽をするなどの美化活動は、会の結成以来の長年にわたり実施している。また、この清掃活動とともに、地域のお祭りで使用する子ども神輿の清掃や、橋本地区町民運動会、ふるさと祭りへの参加、赤い羽根共同募金の街頭募金活動や市老人クラブ連合会友愛募金活動などの福祉募金にも毎年協力するなどして、地域の美化運動の活性化のみならず、会員を通じての美化・福祉思想の普及啓発、地域間・世代間の交流に多大な貢献をしている。 また、ほぼ毎月、同好会活動や懇親会などの事業を行い、会員の健康保持と情報交換を活発におこなっている。
名古屋市	黒川ドリーム会 くろかわどりーむかい 代表者 梅本 隆弘 役員13名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 ①黒川清掃 ②黒川観察会 ①13年 ②11年 ①年3回程度 ②年7回程度 ①北清水親水広場周辺 ②稚児宮人道橋周辺	当団体は、名古屋の中心部を流れる「堀川」の上流区域（通称「黒川」）において、水質浄化や河川環境の向上を目標に結成され、沿川小学校の総合学習の一環として黒川観察会を主催し、児童に堀川に入り、堀川に生息する生物に直接触れ、自然環境を学ぶ機会を提供し、これを通じて環境保全の啓発、教育を行っている。 また、日常的な黒川周辺清掃のほか、「黒川一斉清掃」においても清掃を行っている。
大阪市	相見 富貴江 あいみ ふきえ	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 公園、道路等の清掃活動 41年 毎週日曜日 大阪市北区長柄西2丁目 長柄公園・豊仁小学校周辺	相見富貴江氏は、相当のご高齢であるにも関わらず、地域を愛し、「清潔で美しいまちであって欲しい」という思いから、毎週日曜日に自宅近くの長柄公園や豊仁小学校周辺道路の空き缶・吸い殻・落ち葉などの収集活動の取組みを長年続けています。 また、女性会や老人会の地域活動にも積極的に参加し、地域団体からの信頼も厚く、地域の人々との対話を通じて、地域の方々の美化意識の向上を図り、美化活動への参加を呼びかけるなど美化活動の一層の広がりに貢献しています。
大阪市	北鶴橋女性会 きたつるはしじょせいかい 代表者 清川 住子 会長1名、副会長1名、書記2名、会計2名、会計監査1名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 公園、道路等の清掃活動 62年 月1回以上 大阪市生野区北鶴橋地区の公園および周辺道路など	大阪市地域女性団体協議会は、市内各地域の女性会相互の連絡と、女性の教養、生活、地位の向上をめざして結成された団体で、地域に根ざした学習と実践を基本として、明るく住みよい地域社会づくりをめざして活動を続けている。 環境に関する取り組みとしては、「町を明るく美しくする運動」の取り組みの一環として、清潔な町・大阪を愛する美しい心を育てることを目的に毎月1日を清掃の日と定め清掃活動を行う他、ごみ減量活動、牛乳パック回収やお買い物袋持参活動、打ち水など様々な活動を行っている。 北鶴橋女性会は、大阪市地域女性団体協議会の単位女性会として、上記の取り組みに参加しつつ、構成区域となる生野区北鶴橋地域の公園及びその周辺道路の清掃活動と周辺地域の環境美化の維持向上に努められている。
広島市	宮地 嘉哉 みやじ よしや	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 町内、河川敷等の歩道、自転車道の清掃 17年6か月（平成6年4月から現在） 毎日 作業延長 約1,700m	町内、太田川河川敷の歩道及び自転車専用道路を毎朝6時頃から7時過ぎまで清掃している。 また、土日については、弁当殻等の投げ捨てが多く、散乱しているため、拾い集めて、美観を損なわないよう環境美化に努めている。 現在は、バス停付近の地下道や新こうへい橋の並木通り付近まで清掃範囲を広げており、熱心に広範囲な清掃活動を実施している功績は顕著である。

環境対策に係る模範的取組表彰受賞者 功績内容等

氏名・職業又は団体名・代表者名	功 績
<p>神田 英治 かんだ えいじ</p> <p>中央商事株式会社（日立グループ会社） 管理本部 環境センター センター長</p>	<p>長年にわたる公害防止の現場管理の経験を生かし、独自に生きた教材を開発し現場重視の質の高い講義を全国各地の公害防止の研修会等で展開し、環境保全担当者の育成に大きく貢献した。また、創意工夫された講義スタイルは他の模範として今後とも全国規模で波及していくことが期待される。</p>
<p>トーホー加工株式会社 とーほーかこうかぶしがいしゃ</p> <p>代表取締役会長兼社長 川田 善朗</p>	<p>グラビア印刷の作業工程で多量に使用する有機溶剤について、新たなVOC回収・処理装置の開発導入と回収VOCの再資源化の促進を図り、業界で課題であったVOC削減に大きく貢献した。さらにインキ・機械・フィルムメーカーなどの関連業界も含めた横断的な普及啓発に尽力し、国のVOC削減目標達成にも大きな役割を果たした。</p>
<p>パナソニックロジスティクス株式会社 ぱなそにつくろじすていくすかぶしがいしゃ</p> <p>取締役社長 松村 二郎</p>	<p>阪神地区の大阪港と神戸港の中間に位置し、「尼崎公害訴訟」の和解を受け特に自動車環境対策が求められている尼崎市において、物流拠点の集約化等による効率的な輸送体系の整備を行うことにより、トラック輸送等による大気汚染物質を大幅に削減し、地域の環境改善に大きく貢献した。さらに鉄道へのモーダルシフトの他、大型CNGトラックの開発・実用化に関わり、その導入拡大などの先進的取組も評価される。</p>
<p>前田 泰昭 まえだ やすあき</p> <p>公立大学法人大阪府立大学地域連携研究機構 特認教授</p>	<p>大阪府立大学に勤務し一貫して環境測定と環境改善についての研究に取り組み、多くの企業と協力してそれら研究結果の実装化に尽力した。特に二酸化窒素の化学発光測定法は米国環境保護庁の推奨測定法に採用されるなど、大気汚染物質、水質汚濁物質の測定とその環境改善等に多くの成果をあげ、また、産官学の取組としても大いに評価される。</p>